



彼の事情と

彼女の秘密

〜その後の話〜

彼の事情と彼女の秘密
↳その後の話↳



♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡...

♡♡...

♡♡♡

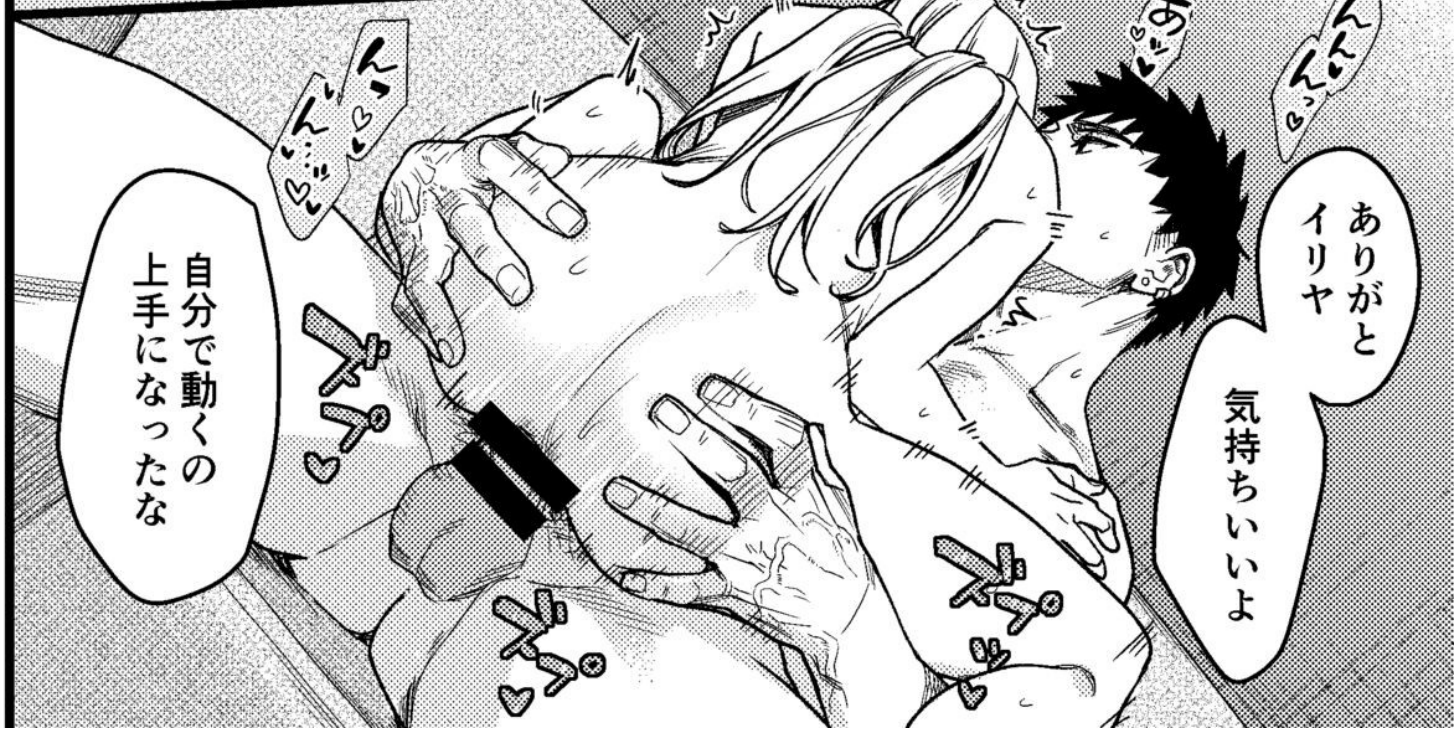
♡♡♡



あ...♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



♡♡♡♡♡

♡♡♡

ありがとう
イリヤ

気持ちいいよ

自分で動くの
上手になったな

♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



いつちやった?

じゃあ次
俺の番ね

はっ

はっ

はっ

あっ

やっ

はっ



待つ…

んん…

ゼクッ

村を出て
2か月

一度王都に
戻った私たちは
ただ二人の時間を
共に過ごしていた



これは私の要望を
ユウマが叶えてくれる
形で実現したが



その間
旅行をしたり
母の墓参りを
済ませたりした

もう一方でこの2か月は
病み上がりのユウマの
療養も兼ねていた
わけで――





でもおばさま…
最低でも3か月は
休んでおけって

一か月なんて
誤差の範囲よ



おー

もう体は
本調子に
戻ってるし
これ以上休業したら
得意先に存在
忘れられちゃうしな

ガゴソ



…なんか
私のこと
子ども扱い
してる？

あう。

うーん
どちらかというと
猫扱いかな？

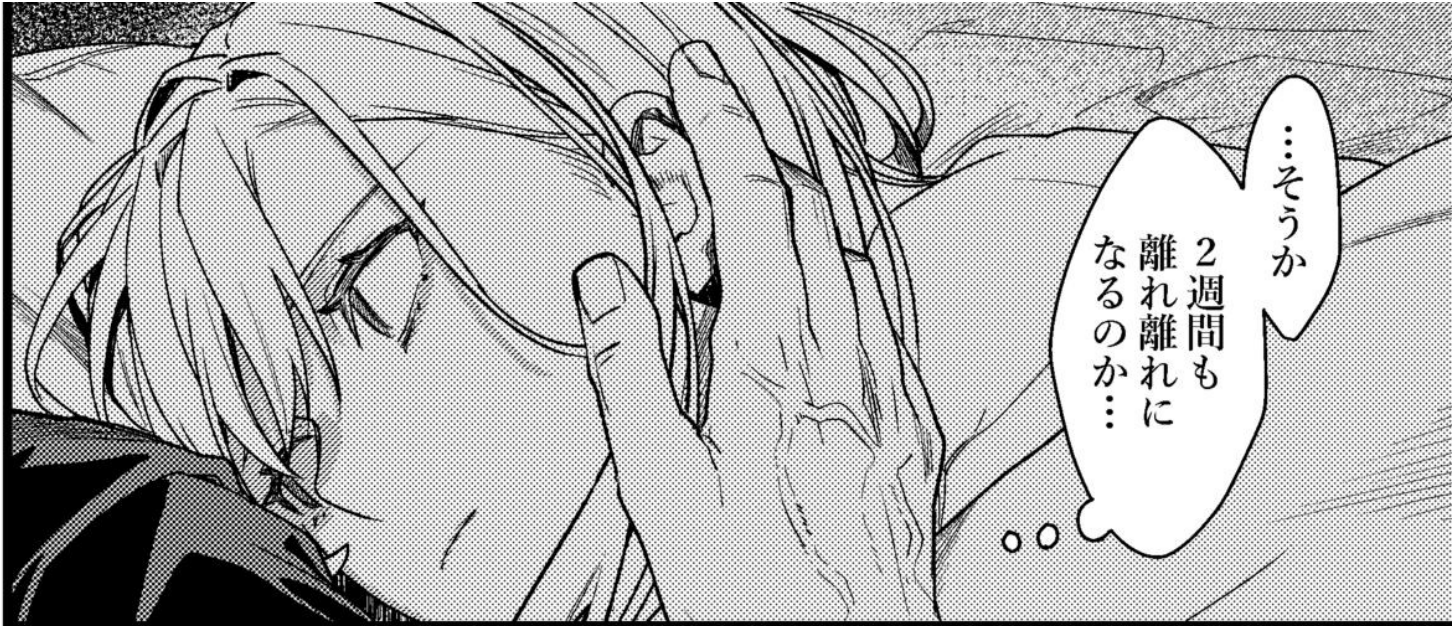


いつから？

3日後

だから2週間くらい
留守にすることに
なるけど…

一人で
大丈夫か？



…そうか
2週間も
離れ離れに
なるのか…



だから
イリヤさん

明日と明後日は
たくさん
えっちしよ♡

日記
くらし

日に一回

えー
もう一声

おやすみ

えー

ユウマといて
楽しい




ユウマが
好き

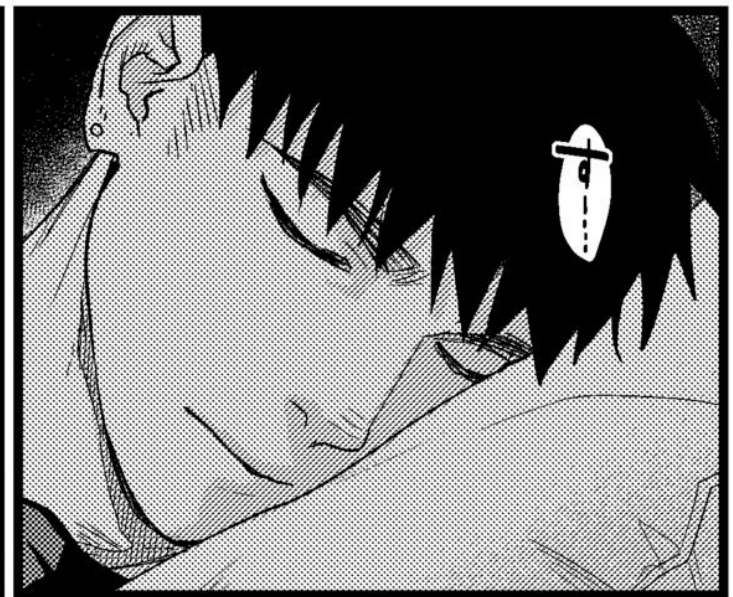
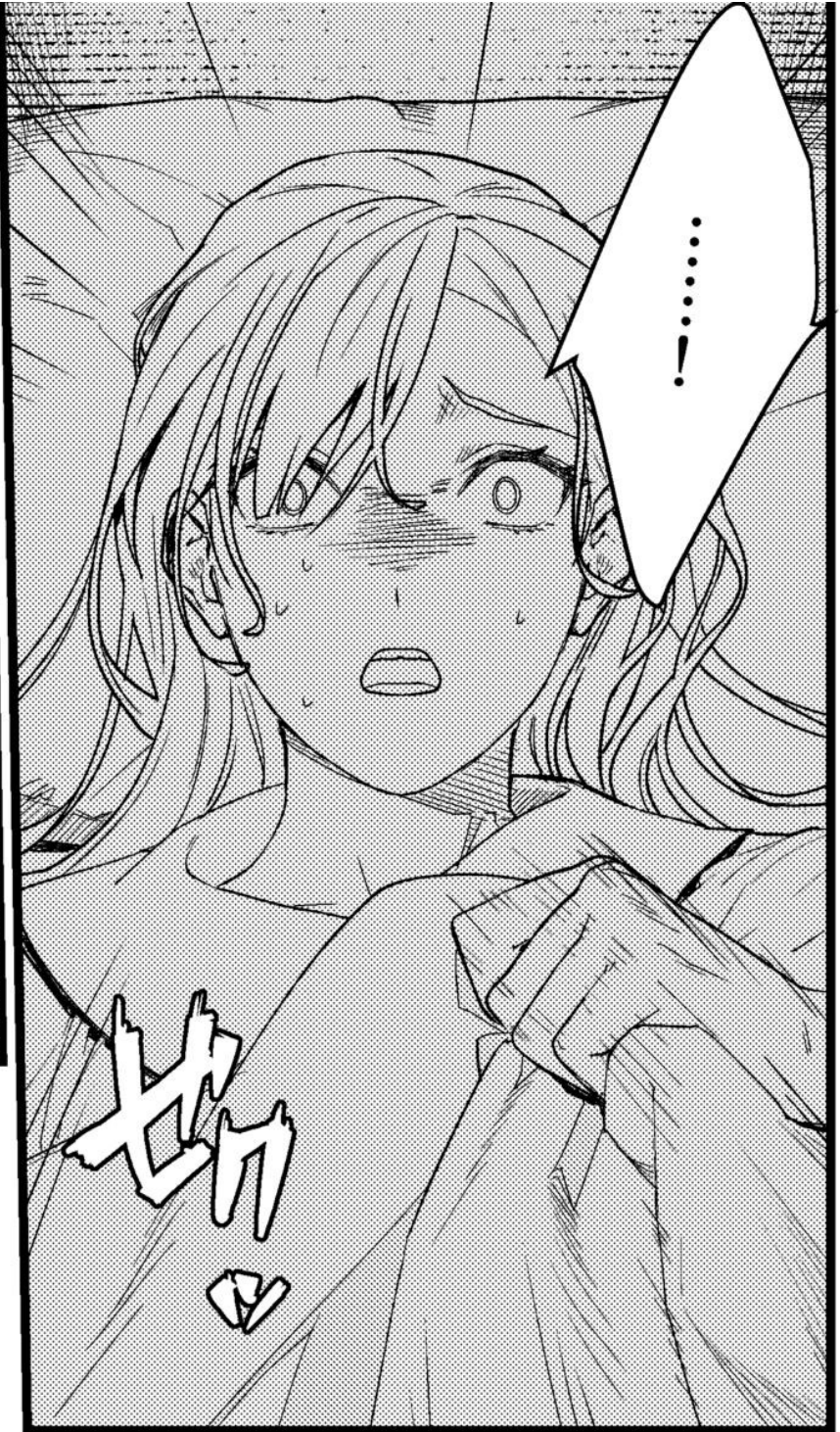
ユウマと共に
生きていきたい

でも

ふとした時に
脳裏をよぎる
現実



私が彼の兄を
殺したことに
変わりはないのに





いつも見る
夢だ

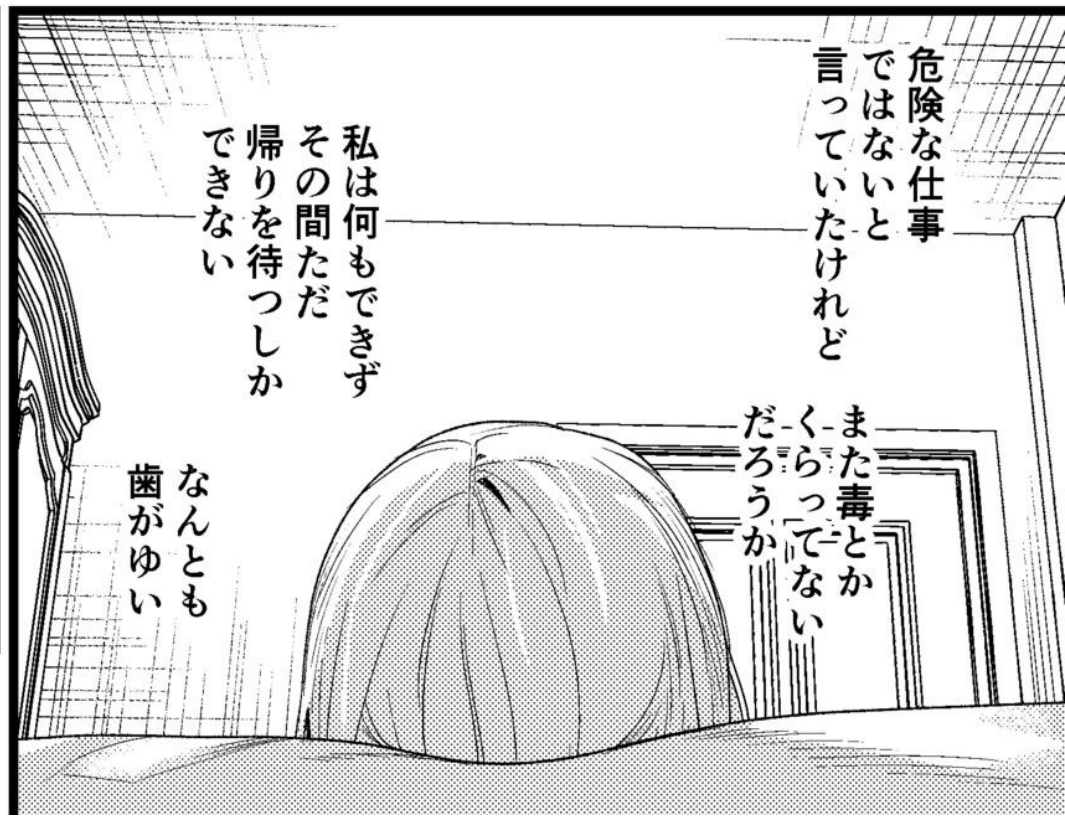
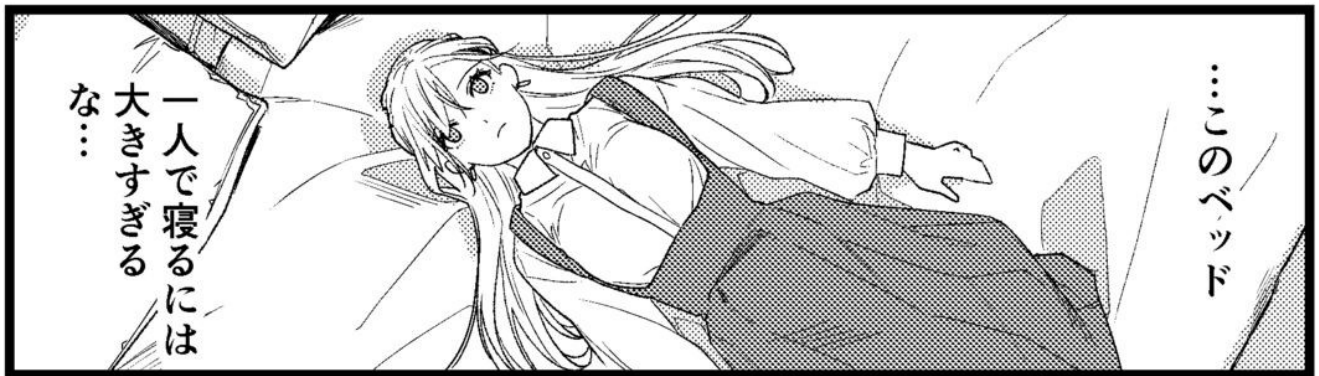
いつも見る

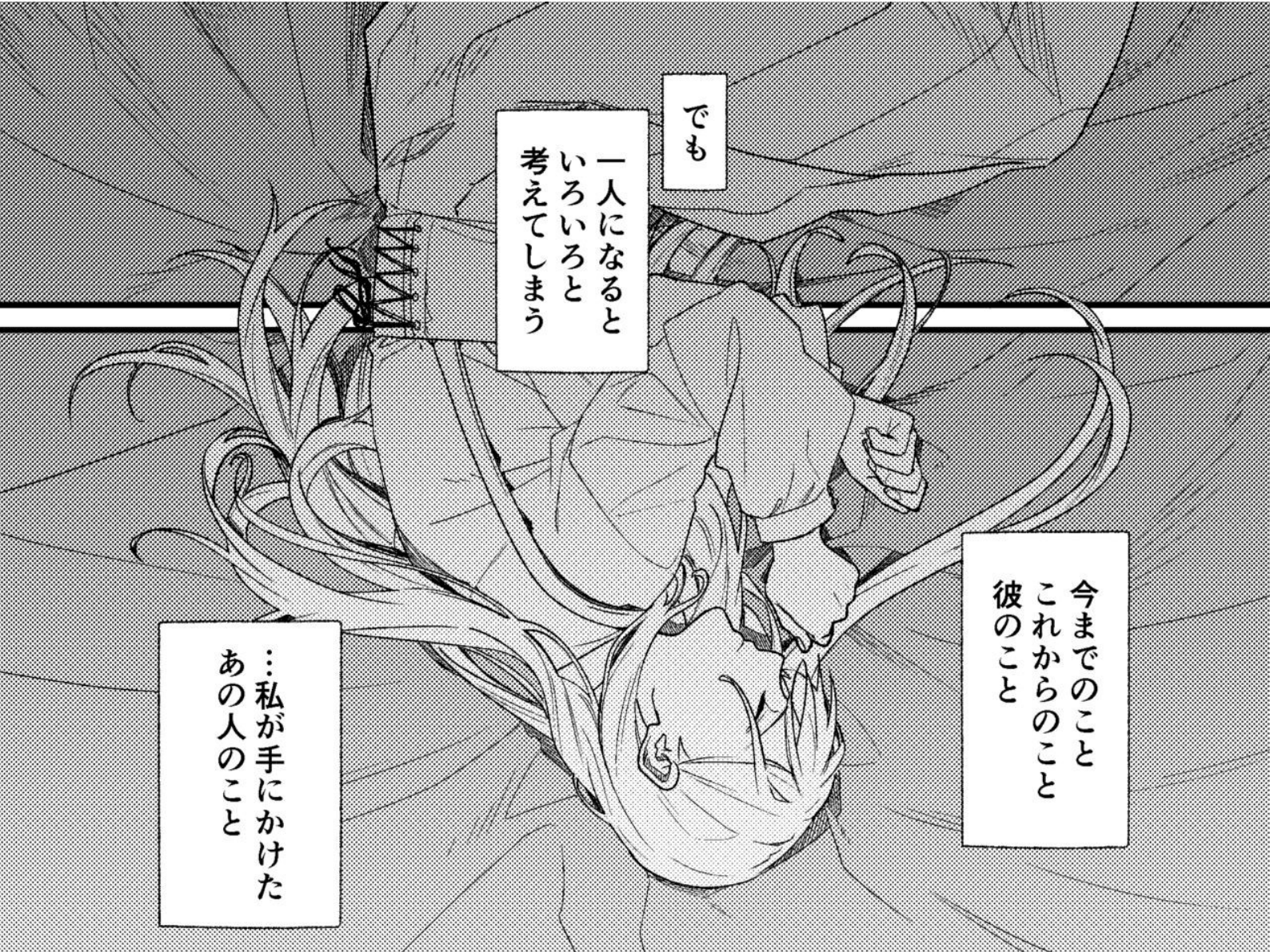
あの時の…



最近また
見る回数
が増えたな…





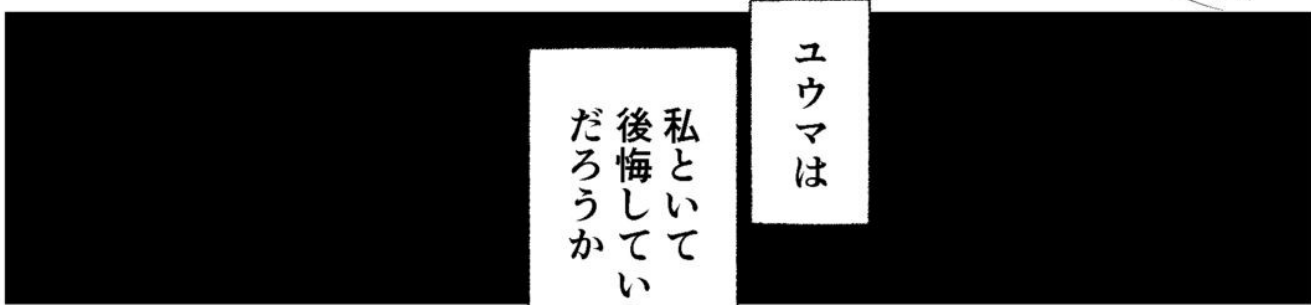


でも

一人になると
いろいろと
考えてしまう

今までのこと
これからのこと
彼のこと

…私が手にかけて
あの人のこと



ユウマは

私といて
後悔して
いない
だろうか

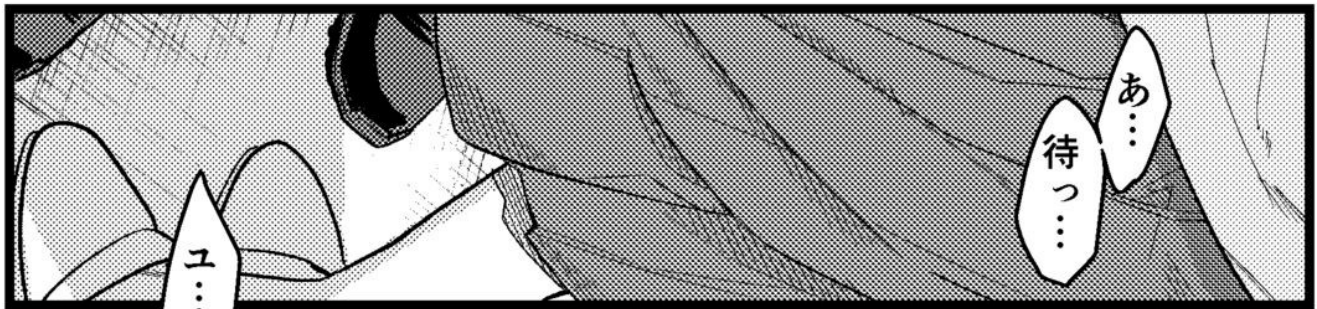


「アッ」

!

ユウマ
手紙では確か
今日帰って
くるって……





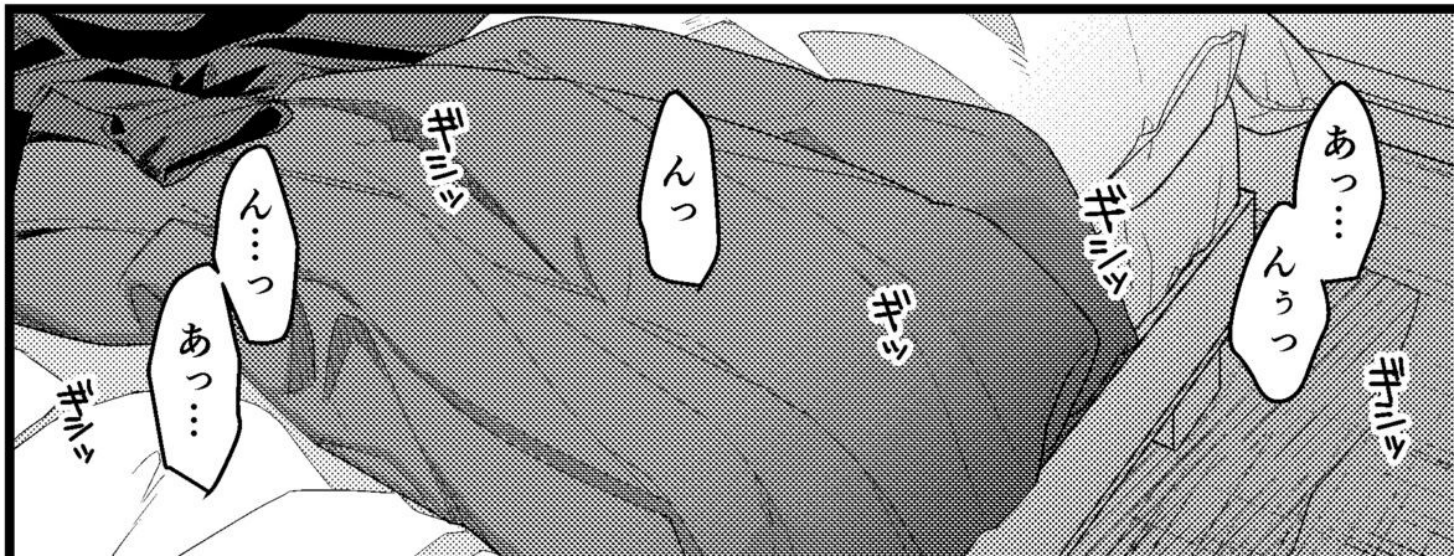


膝に力
入らなく
なっちゃった？

ベッド
行こうか



はっ
はっ
はっ



んっ
あっ...

あっ...
んっ



ユウマの
キスも…

大きな
手も…

全部…
気持ち…
い…♡

会えな
かった分…

もっ…



んっ♡
ふっ…♡

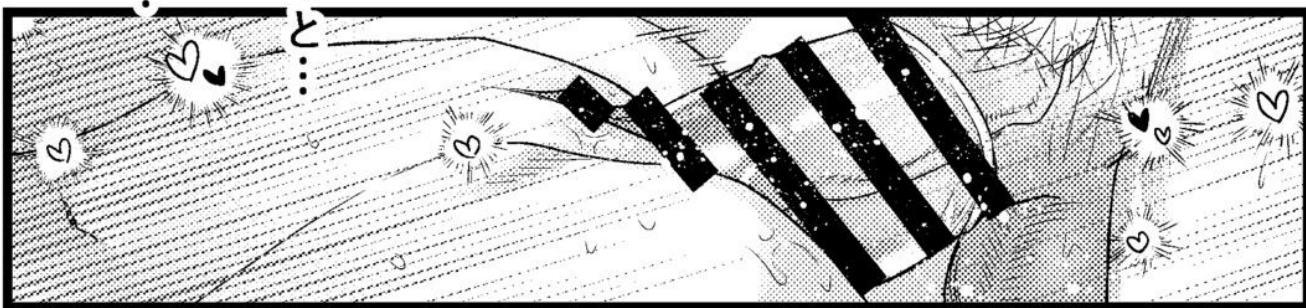
スリスリン♡

ユウマの…
指…♡

ゼクン♡

んっ♡

んっ♡



：イリヤのこと
もっと可愛がって
あげたいけど

こっちももう
限界かも

あっ♡

いっ♡







当初二週間
だった予定が
延び

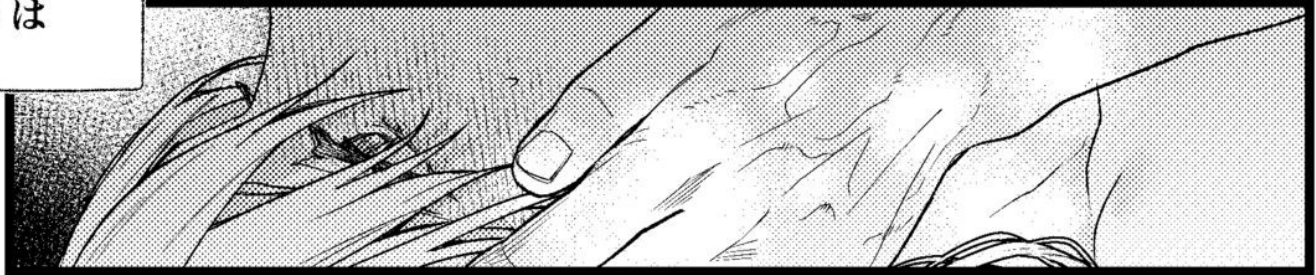
彼の体温を
感じたのは
一か月ぶりだった

この一か月
とても長く
感じた



離れている間
不安を感じて
いたのは
私だけだろうか

ユウマは何か
心境の変化とかは
なかっただろうか



彼の今の
気持ち
を聞くのが
とても怖い



イリヤ
さあ

俺がない間
ちゃんと飯
食ってたか？



...なんで？

一緒に →
シャワー
浴びていた

...いや気のせい
だったから
いいんだけど

少しやつれた
ように見えて



ん...でも
そうね

ちよつと
寝不足気味
なだけ

心配してくれて
ありがとう



もしや...
俺の不在時に
何か事件にでも
巻き込まれたり...?!

してないわよ

ちゃんとご飯も
食べたわ

フッ



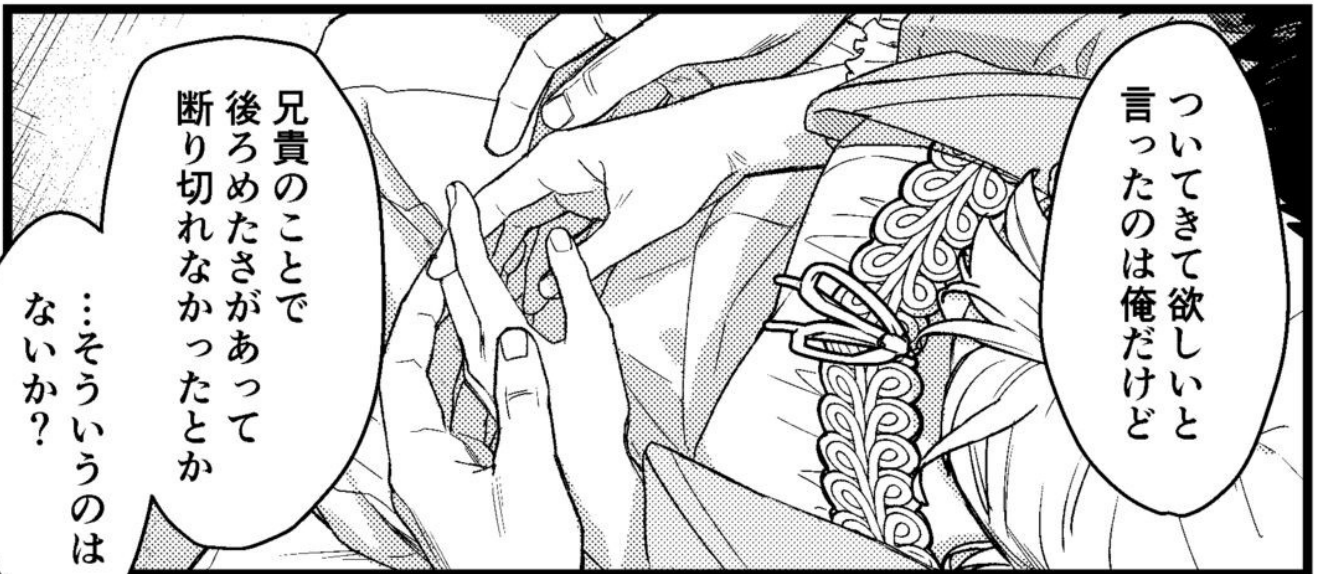


イリヤ

あの村を出て

俺についてきて

後悔してないか？



ついてきて欲しいと
言ったのは俺だけ

兄貴のことで
後ろめたさがあったって
断り切れなかったとか

…そういうのは
ないか？

俺は今でも
イリヤと一緒に居たいという
気持ちには変わりはない

でももしイリヤが
別にやりたいこと
行きたい場所があれば
俺は全力でサポートする

無理して俺に
あわせなくてもいい

イリヤは自分の
生きたいように
生きればいい

だから

君の偽りない
本音を
聞かせてほしい

.....!

イリヤ

…ふふっ

え？
なにになに？

ここ笑う
ところ？

いえ
ごめんなさい

私も同じこと
思っていたから

トッ

私は今

自分の意志で
ここにいます

王都にきて
本当に毎日
楽しかった

貴方といろんな
ところに行けて
いろんな楽しい時間
共有できて

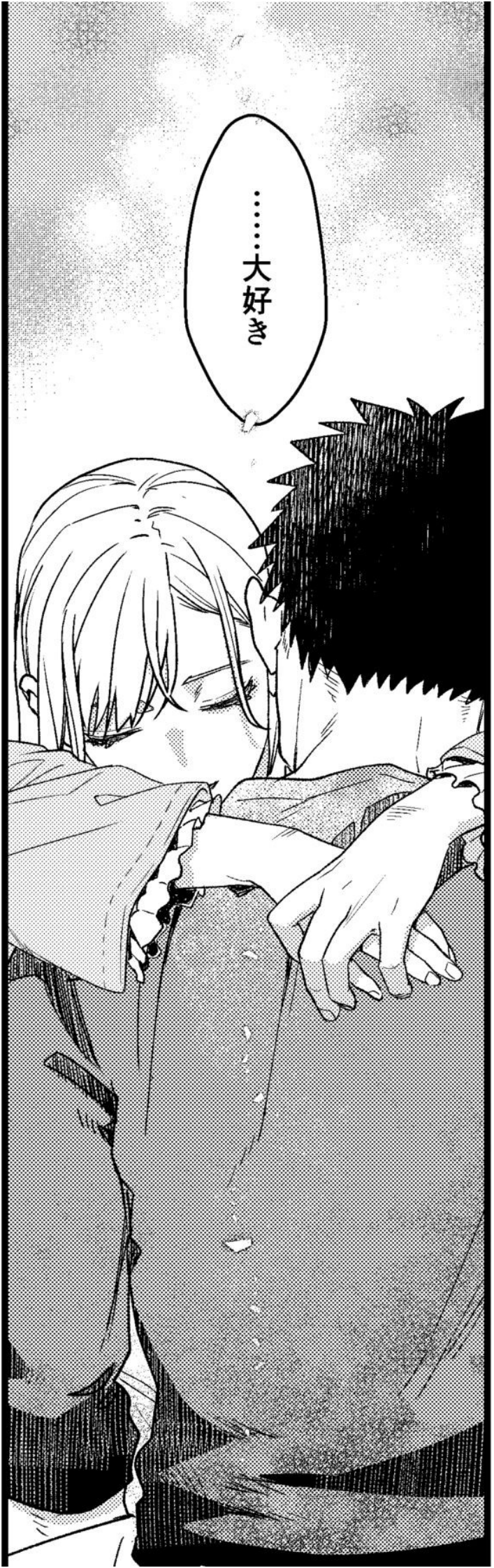
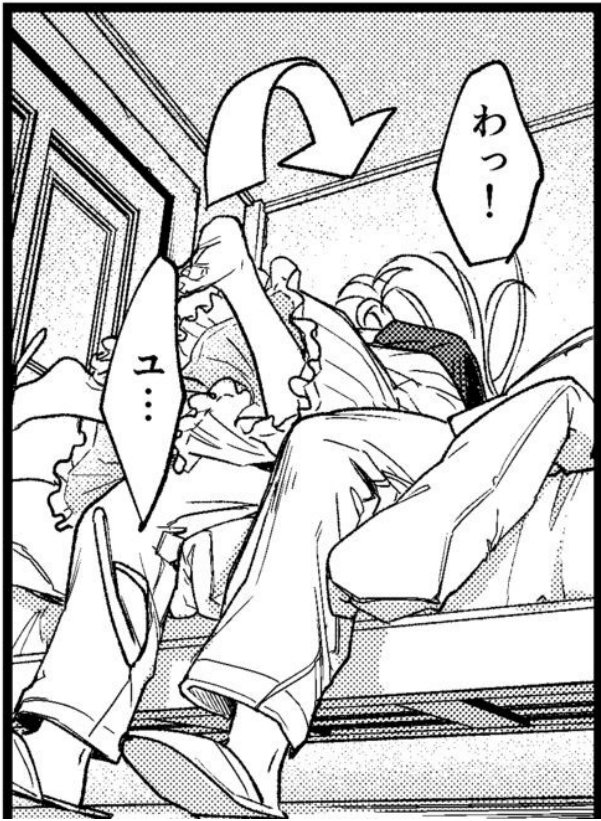
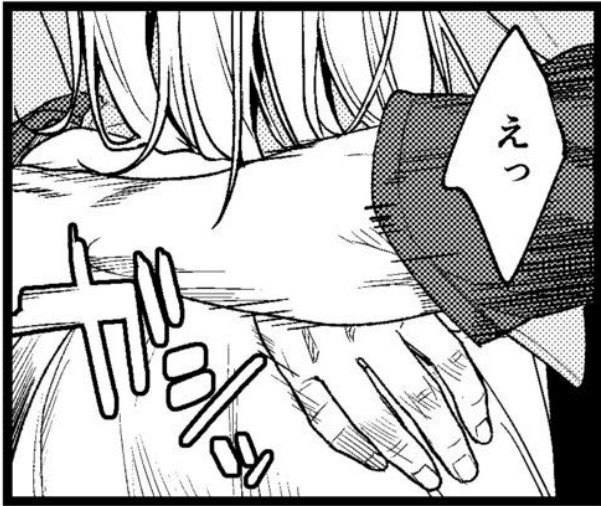
すごくすごく
幸せだった

確かに貴方に対して
後ろめたさが全く
ないわけではない

でもそれ以上に
私が貴方と
一緒にいたい
と思ったから

貴方とともに
生きたいと
思ったから

：だから今
私がここに
いるのは
自分の意志





…なんで
そうなるの？

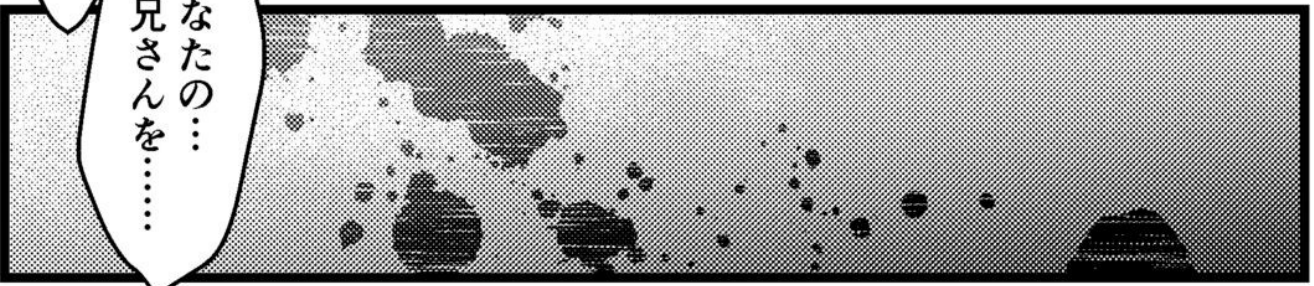
だってイリヤ
あんまり本心
語ってくれない
じゃん？



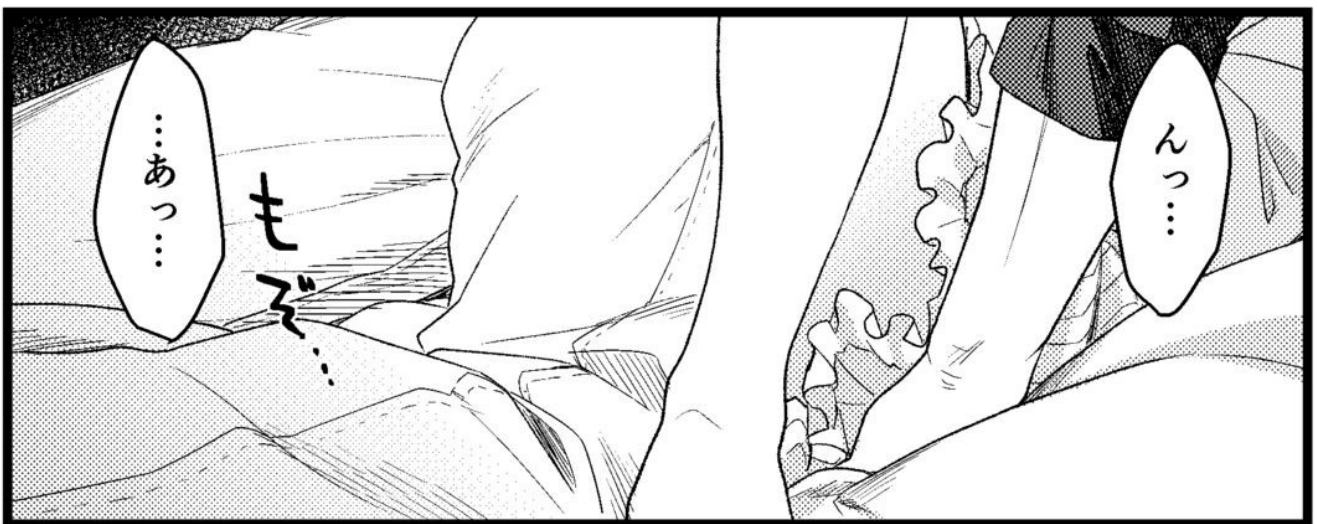
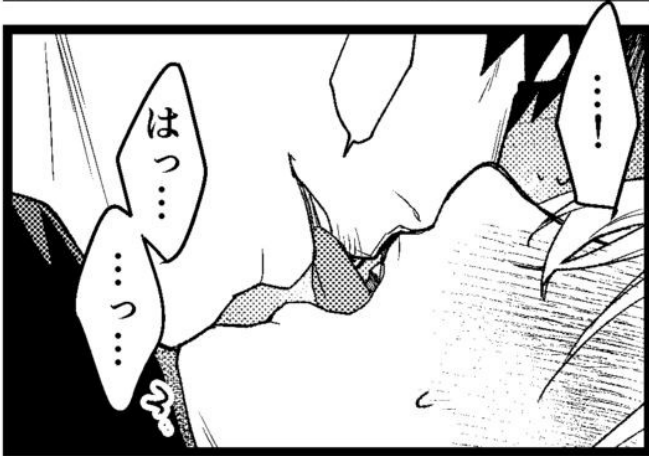
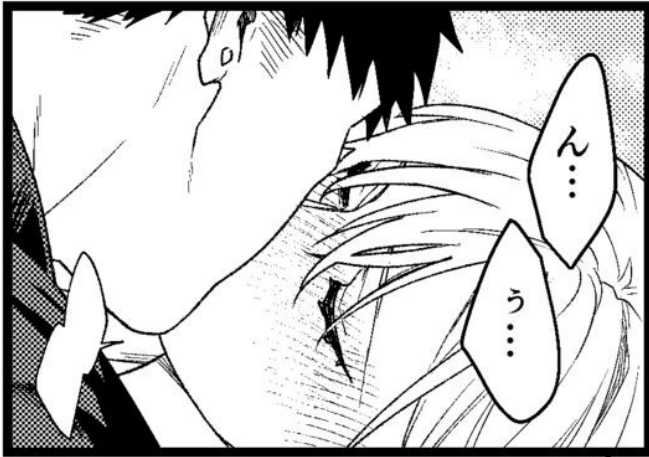
良かった
ほんとにイリヤに
振られたら
どうしようかと
思った

びび

びび









ユウ
マ...

...何?

イリヤさんも
さっきの一回だけじゃ
足りないでしょ?

もう一回
愛の確認作業
しようよ

ナニッ



...っ...

バクッ



ウウウウ



でもまあ
イリヤが嫌なら
無理強いは
しないけど.....

どうする?



ニム



ユウマと

し...たい...



わ...

私も...

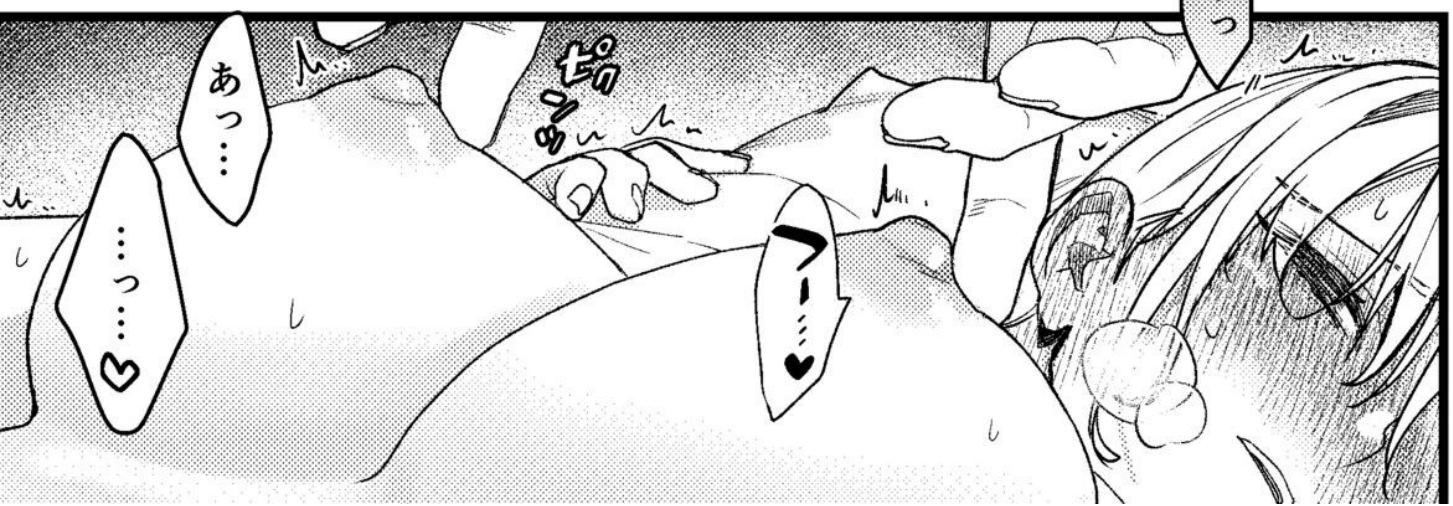


よかった

今日は離れていた分
たくさんしようね



ぎゅっ



あっ...

...っ

あ...
あ...
あ...

...っ
...っ
...っ
♡

♡



イリヤ今日
反応いいね

もっと
気持ちよく
なろっか

乳首
だけで...

イっ...♡

嘘...
私今...

やっ...♡





もうこんな
濡らしちゃって
ほらこの音
わかる？



イリヤのクリ
勃起してて
かわいい♡
ここも
苛めて
いい？



イリヤ
脚閉じないで
ちゃんと
開いて



我慢できない?
可愛いね



いい反応
いいね
クリ気持ち
いいね♡



...これで
よし
このまま
イっちゃ
おうね



...しようが
ないなあ

っ...

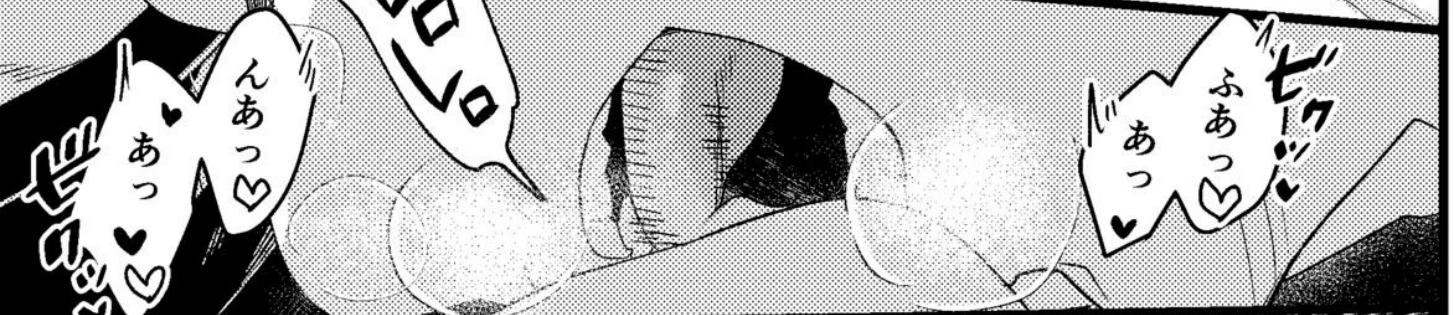


ズン

♡♡♡

♡♡♡

待っ...



♡♡♡ あっ

んあっ♡

ムロ

♡♡♡ ふあっ♡



強...
吸われ...♡

今度は...



ユウマの...
舌...♡



全部...
刺激...
され...

気持ち
いいところ...

だめ...♡

イク...
イク...♡

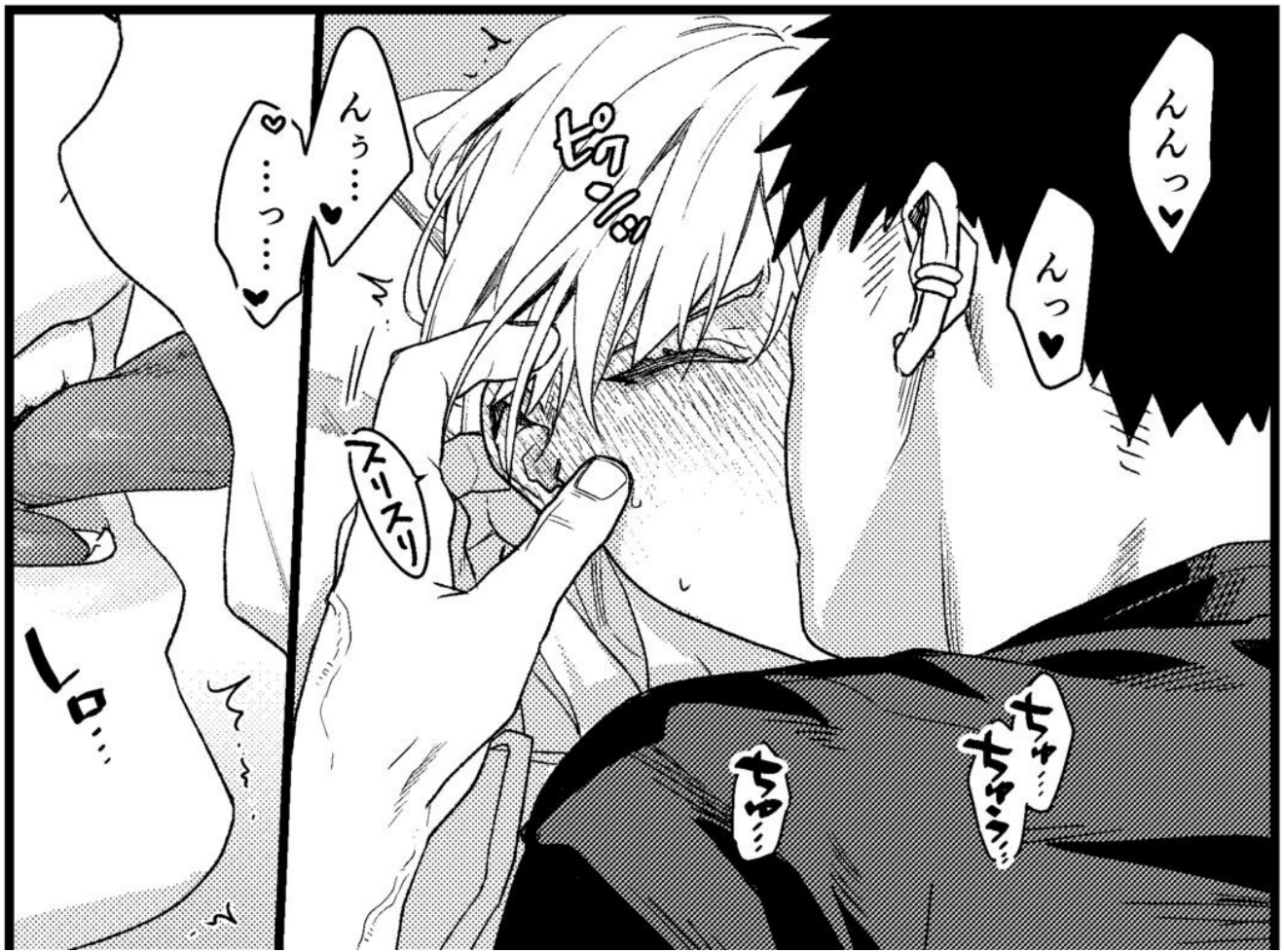
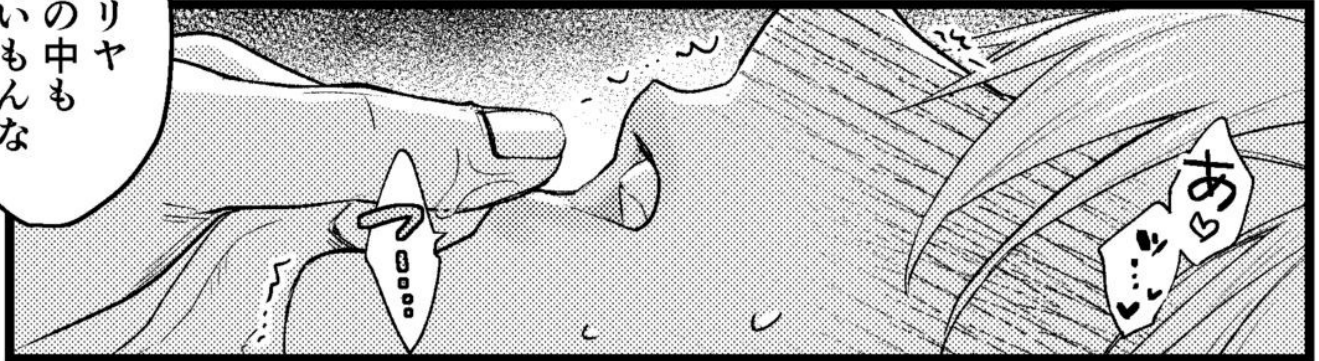


イリヤ
口の中も
弱いもんな



口の中は？

あっ





今から
そんなので
大丈夫？

…イリヤのその顔
すげーそそるけど



まだ挿入もして
ないんだけど

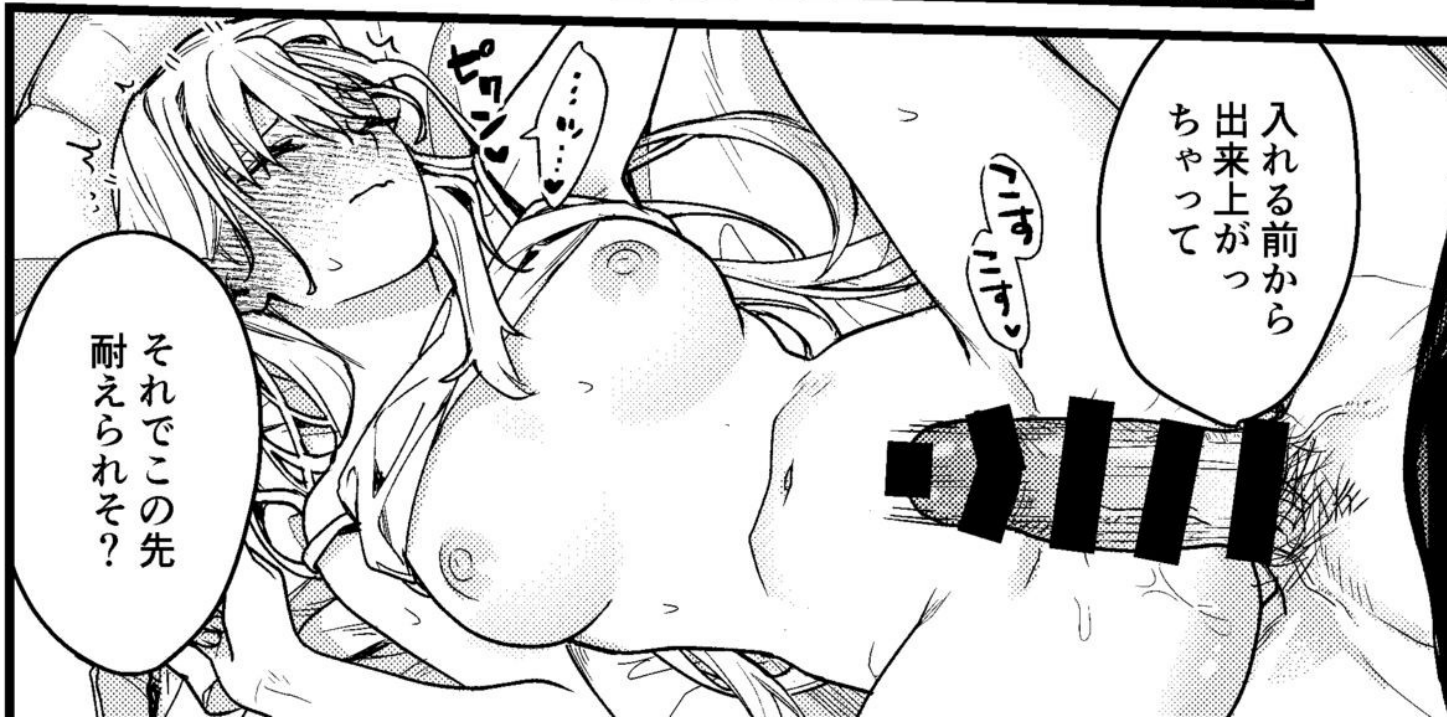
あっ



はあ…

…っ…
あ…

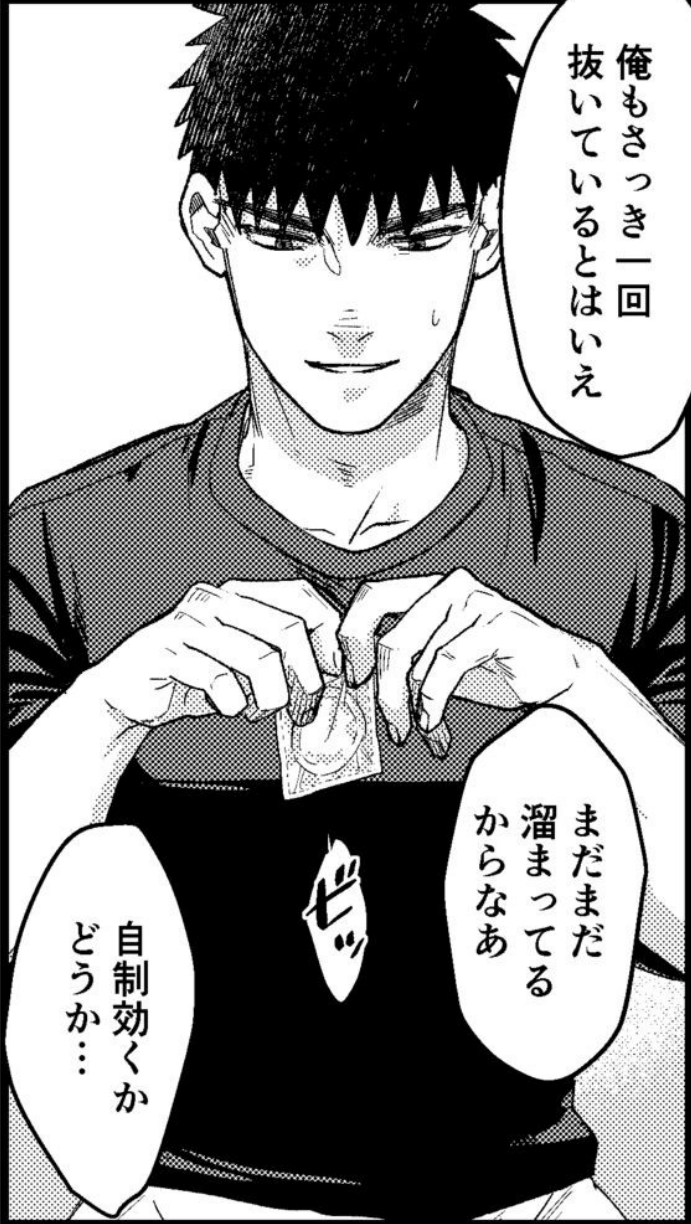
ふんふん



入れる前から
出来上がっ
ちゃって

ひすひす

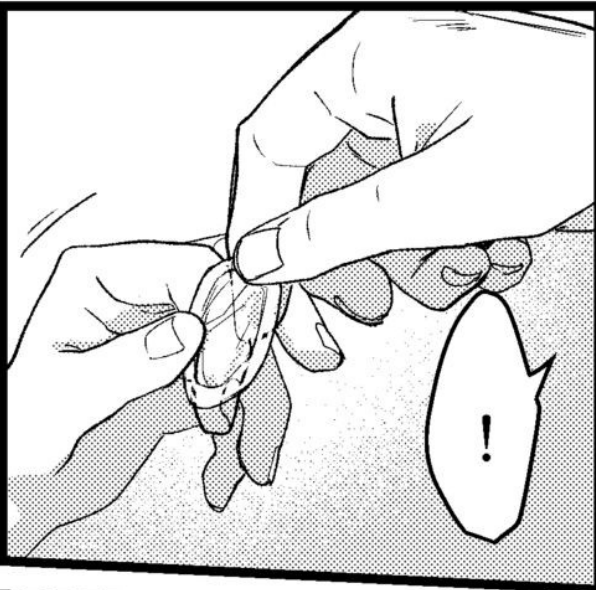
それでこの先
耐えられそ？



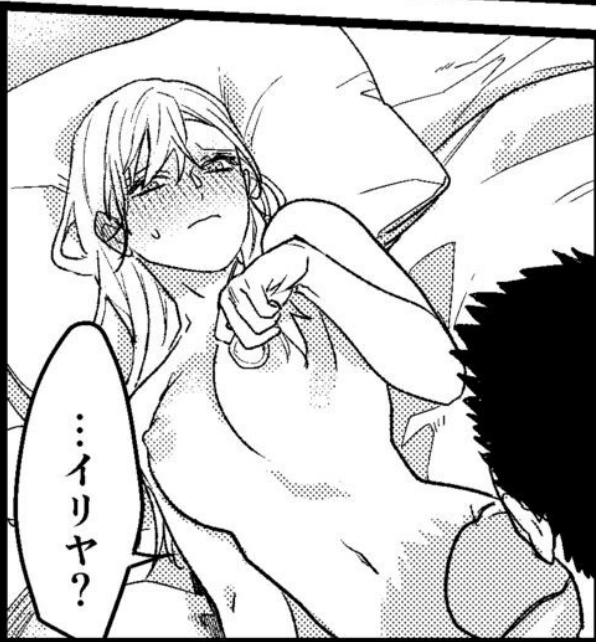
俺もさっき一回
抜いているとはいえ

まだまだ
溜まってる
からなあ


自制効くか
どうか…



!




…イリヤ?



何?
イリヤさんが
つけてくれ…

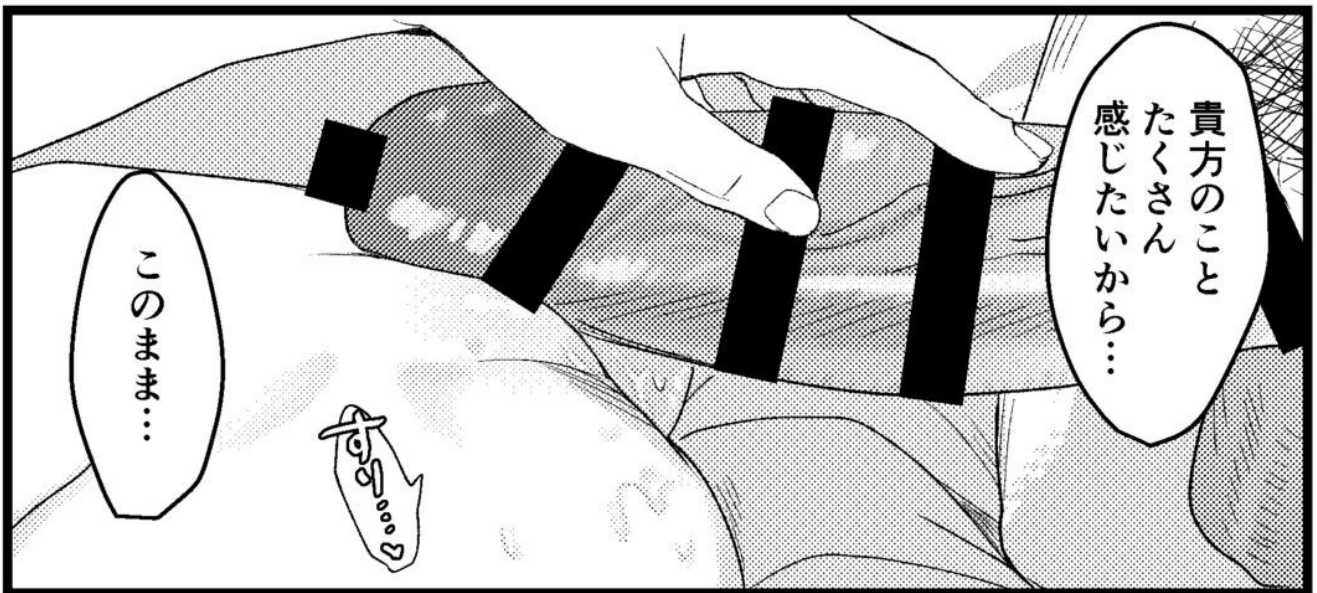
きよ…
今日は
このまま…

直接…
したい…



避妊薬も
飲んでる
し…

だめ…?



またそうやって
人を煽るような
ことを...!!

あつ

ビクッ

くう...

んん...

ゼン...

ゼン...

んん...

ん...

うう...

んん...

ア...



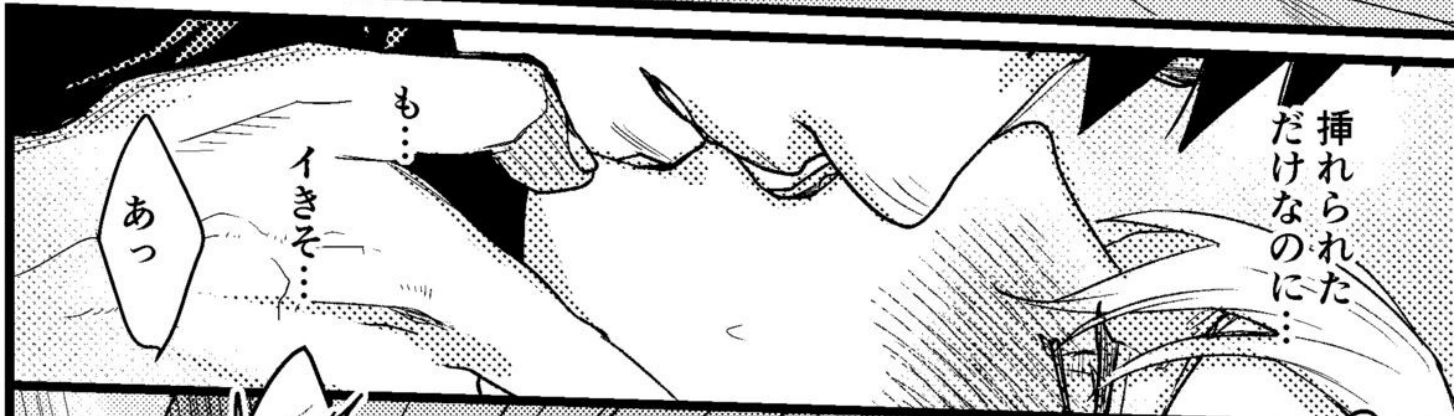


ユウマの
ユウマの

奥まで
入ってる...

あつい...♡

アム...

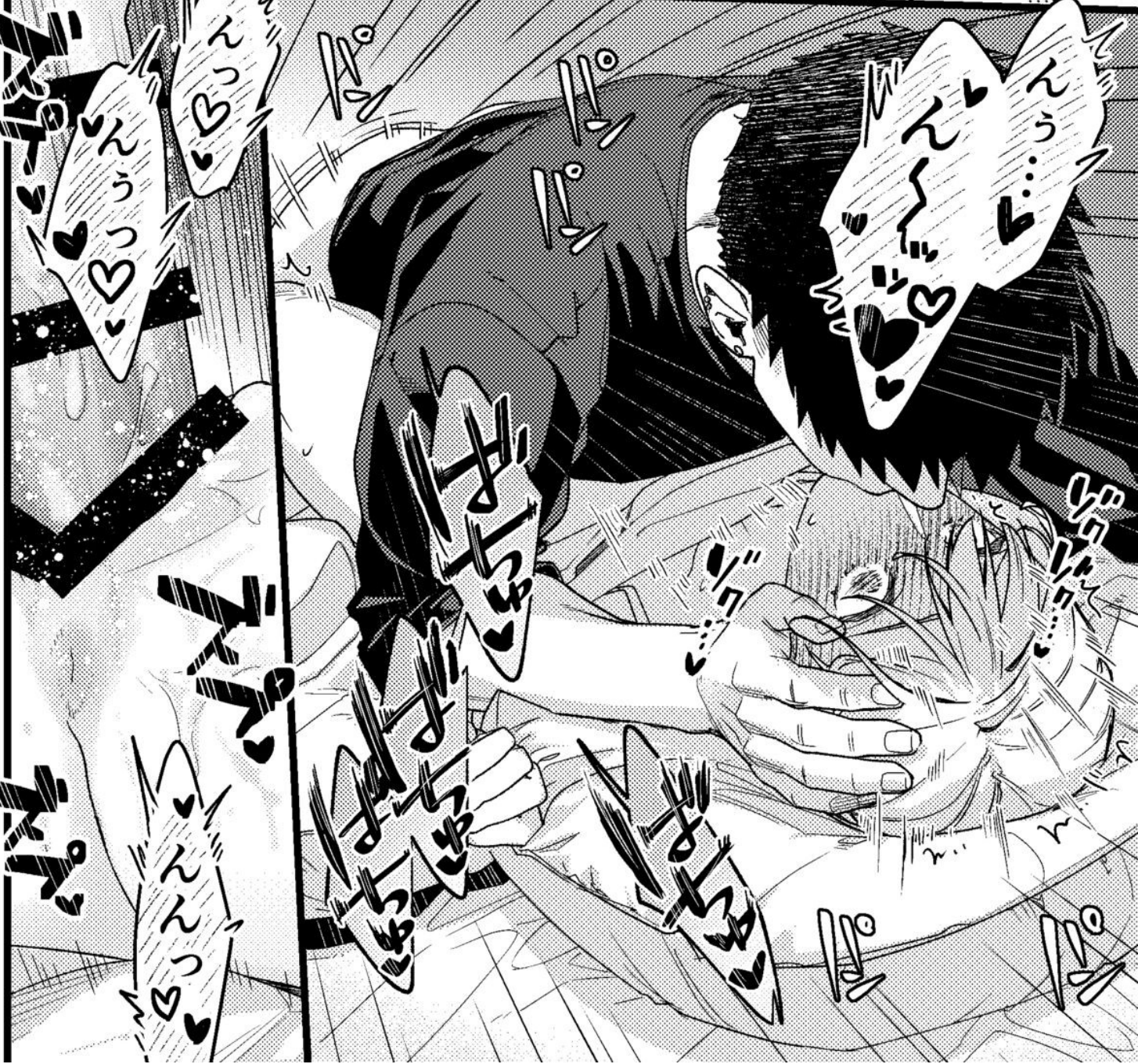


挿れられた
だけなのに...

も...

いきそ...

あつ



んん...♡

んん...♡

んん...♡

んん...♡

んん...♡

んん...♡



んんっ

ああっ
あっ

ほっ
ほっ

んあっ

あっ

ん...っ

ほっ
あ...っ



やっぱり
いつもより
感度いいな

さっきから
ずっと
締め付けて
くる

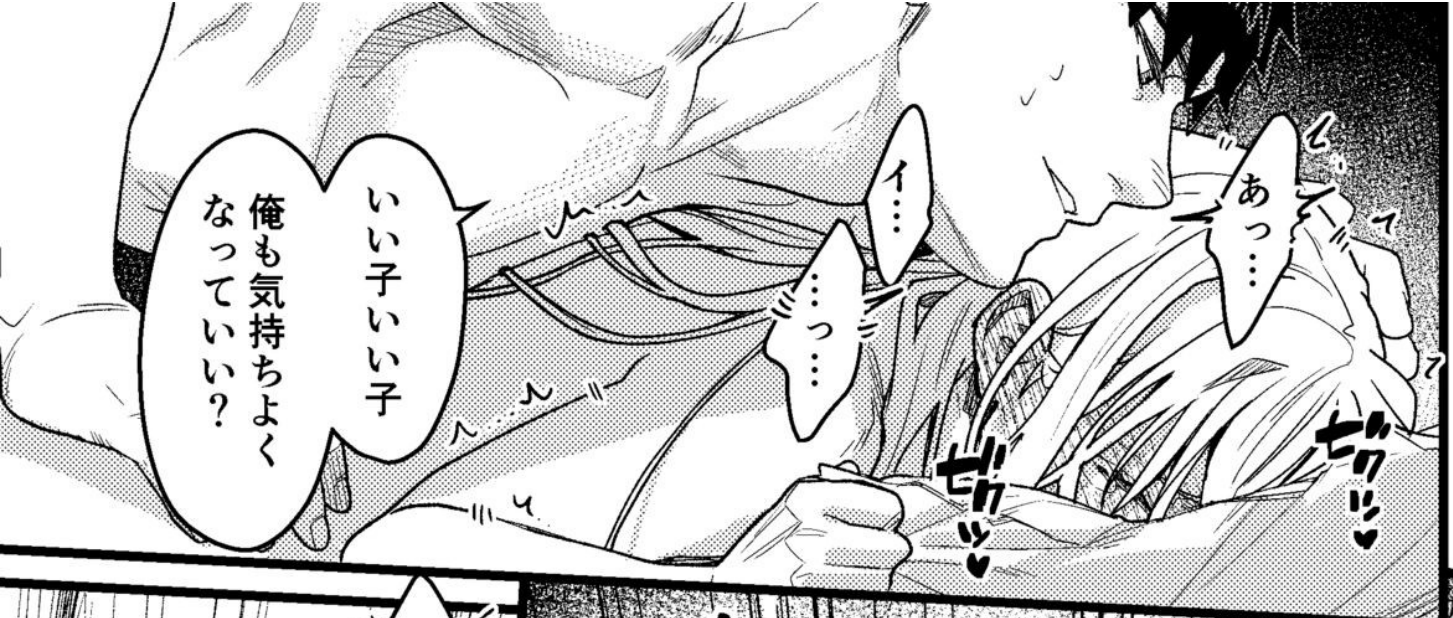
んっ...

あ...

ん...っ

ほっ
ほっ

ほっ
ほっ



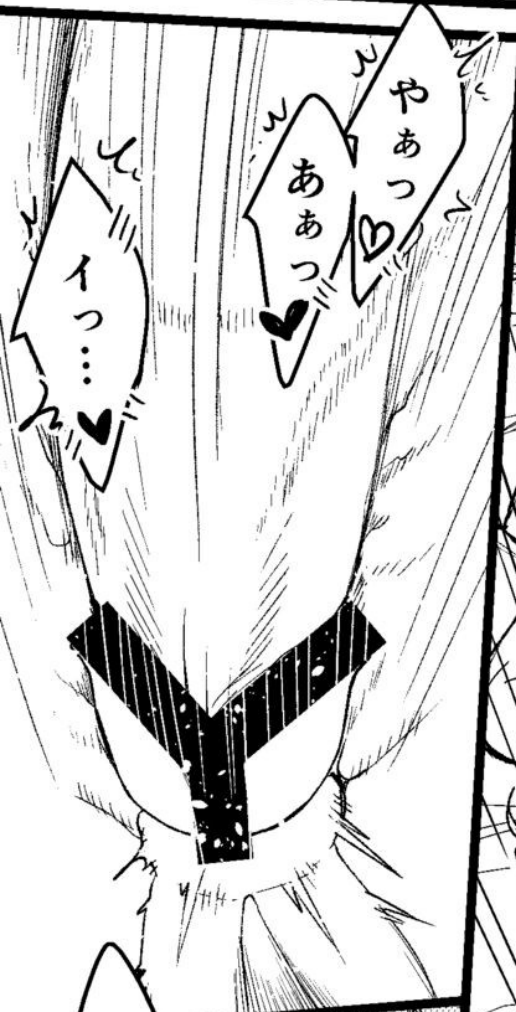
いい子いい子
俺も気持ちよくなっている？

イ...

あっ...

セクッ

セクッ



ああっ

やあっ

イっ...



あ...は...

...っ



はしゃが

はしゃが

はしゃが

待っ...

はしゃが

だめ…

激し…♡

奥の
気持ちいい
ところ…

つぶされ
ちゃ…♡

体の奥の…

疼いてる
ところ
当てられて

いくの…

止められ
な…

ククク

んあ

あ

あ

あ

んあ

あ

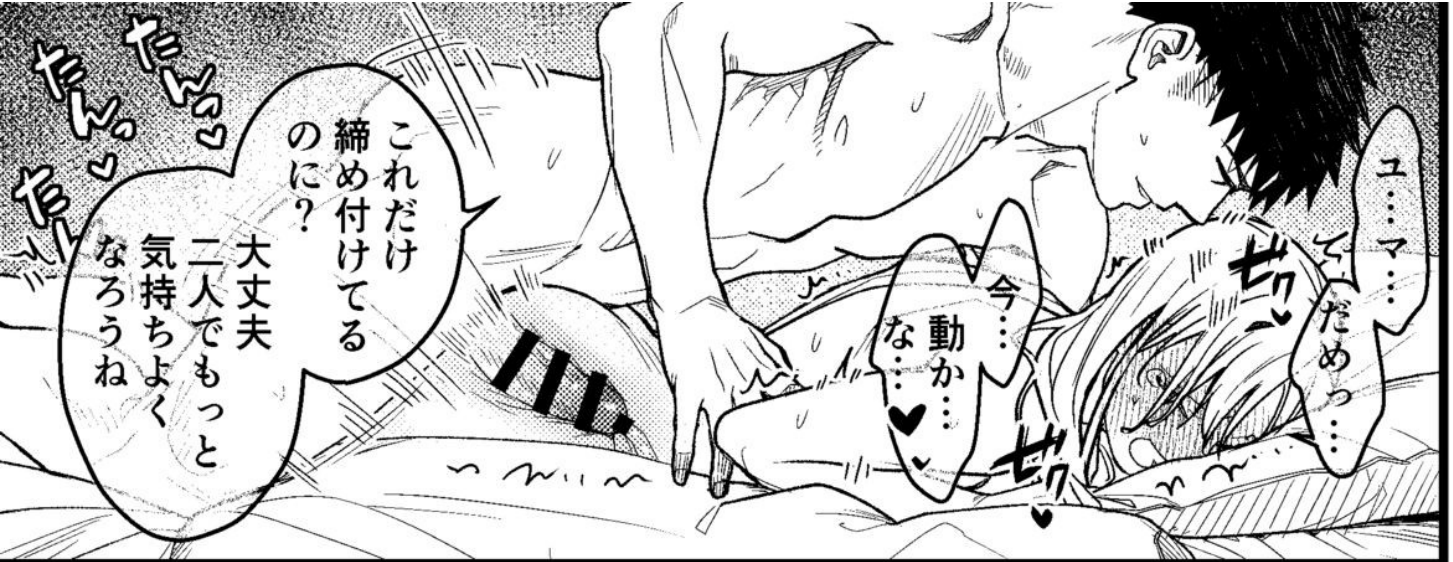
あ

あ

あ

…♡

締め付け
きつくて
搾り取られ
そ…♡



これだけ
締め付けてる
のに？

大丈夫
二人でもっと
気持ちよく
なろうね

今...
動か...
な...

ユ...マ...
だめっ...



脚ばたつかせ
ちやっつて
かわいい♡

奥突かれるの
気持ちいいね♡

イっ...

あっ...

だっ...

ゼンゼン♡



そんな声
出して
さあ...

あー
ほんと
かわいい

ほら
こっち
向いて？

あ...あ...
やああ...

ひあっ...



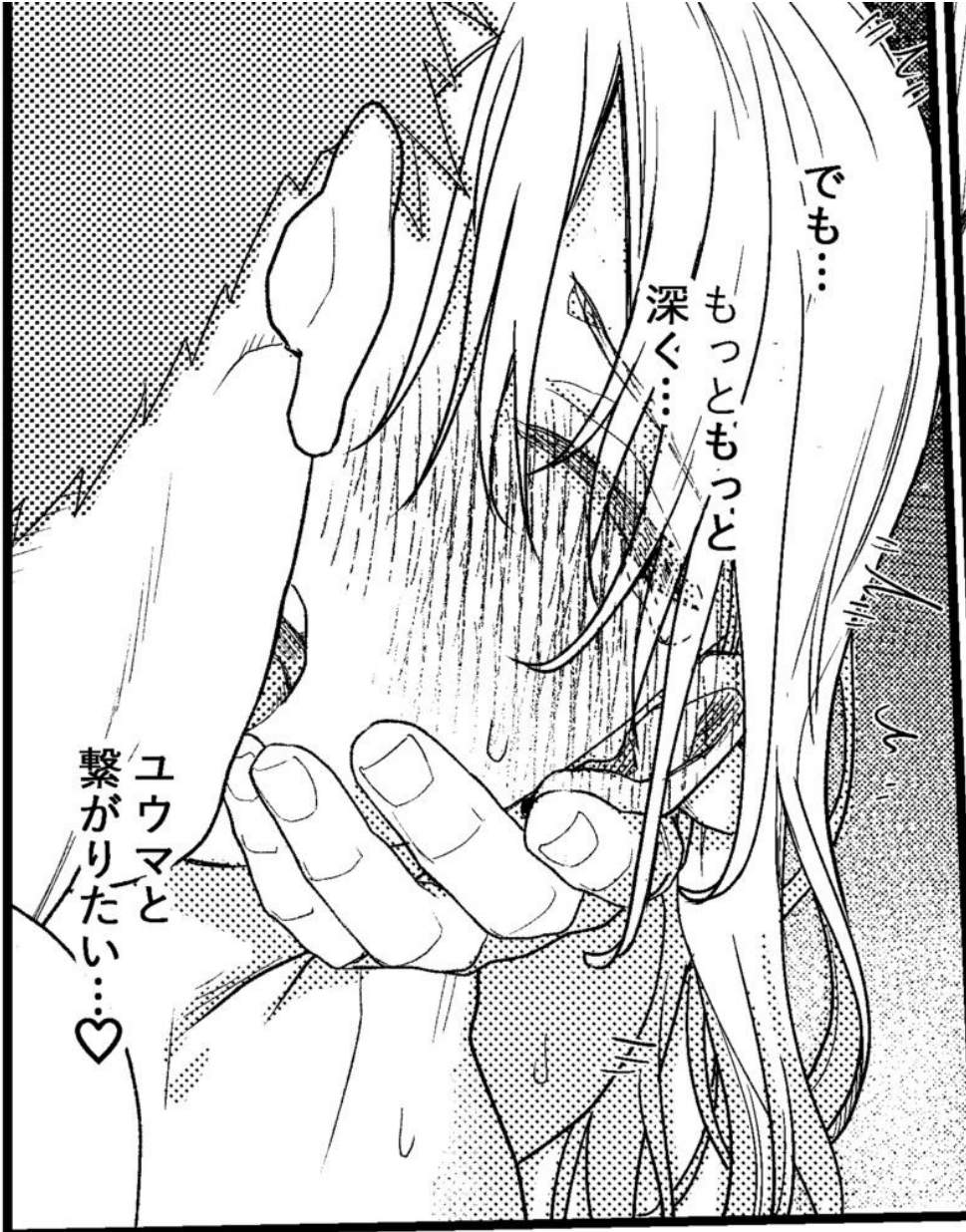
あんっ...
んんっ...

んんっ...
んんっ...

う...っ

んんっ...
んんっ...

ゼンゼン♡
ゼンゼン♡
ゼンゼン♡



でも...

もっとももっとと
深く...

ユウマと
繋がりたい...♡



だめ...♡

ユウマに...

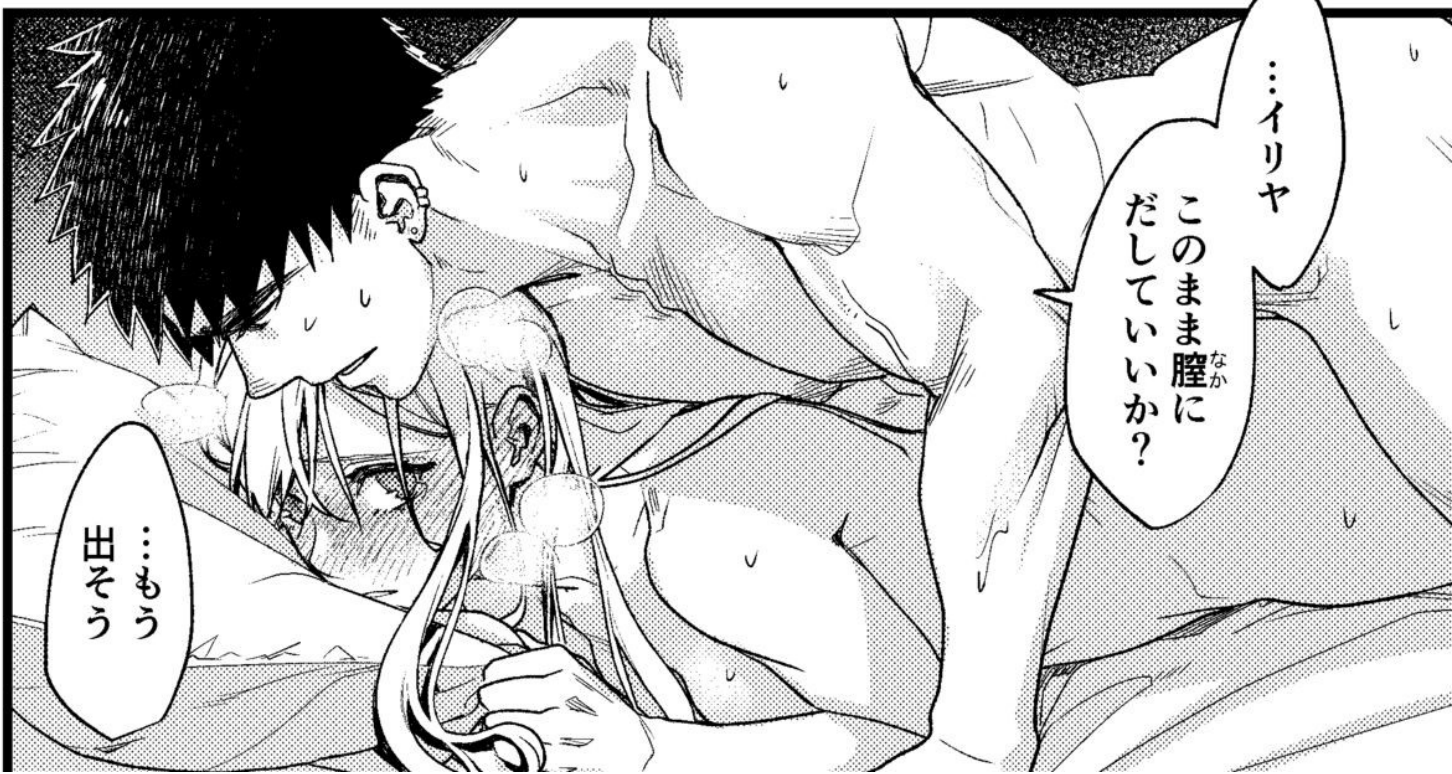
奥の奥まで...
ぐちゃぐちゃに...
され...♡

気持ち...
い...♡



もっと...

ユウマの
全部...



...イリヤ

このままなか臆に
だしていいか？

出ろ...
もう

…うん…

私も
ユウマの…

なか
腔に欲しい…♡

だからそういう
可愛いこと言くと
暴走しそうに
なるんだって

あっ♡





えっ…

イリヤ…

出すぞ…!

あっ…

ユウマ…

田…

田…

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

田

ゼンゼン
ア...

ア...

ゼン

イリヤ
かわいい

また潮
吹いちゃってる

イリヤ

ア...

ア...

ア...

ゼン

ア...



やあ…

今…顔
見ないで…

ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ…

だ…から
…

見られる
と…

恥ずか…し…

ぽお

あっ!?

あははは

んう…

っ…♡

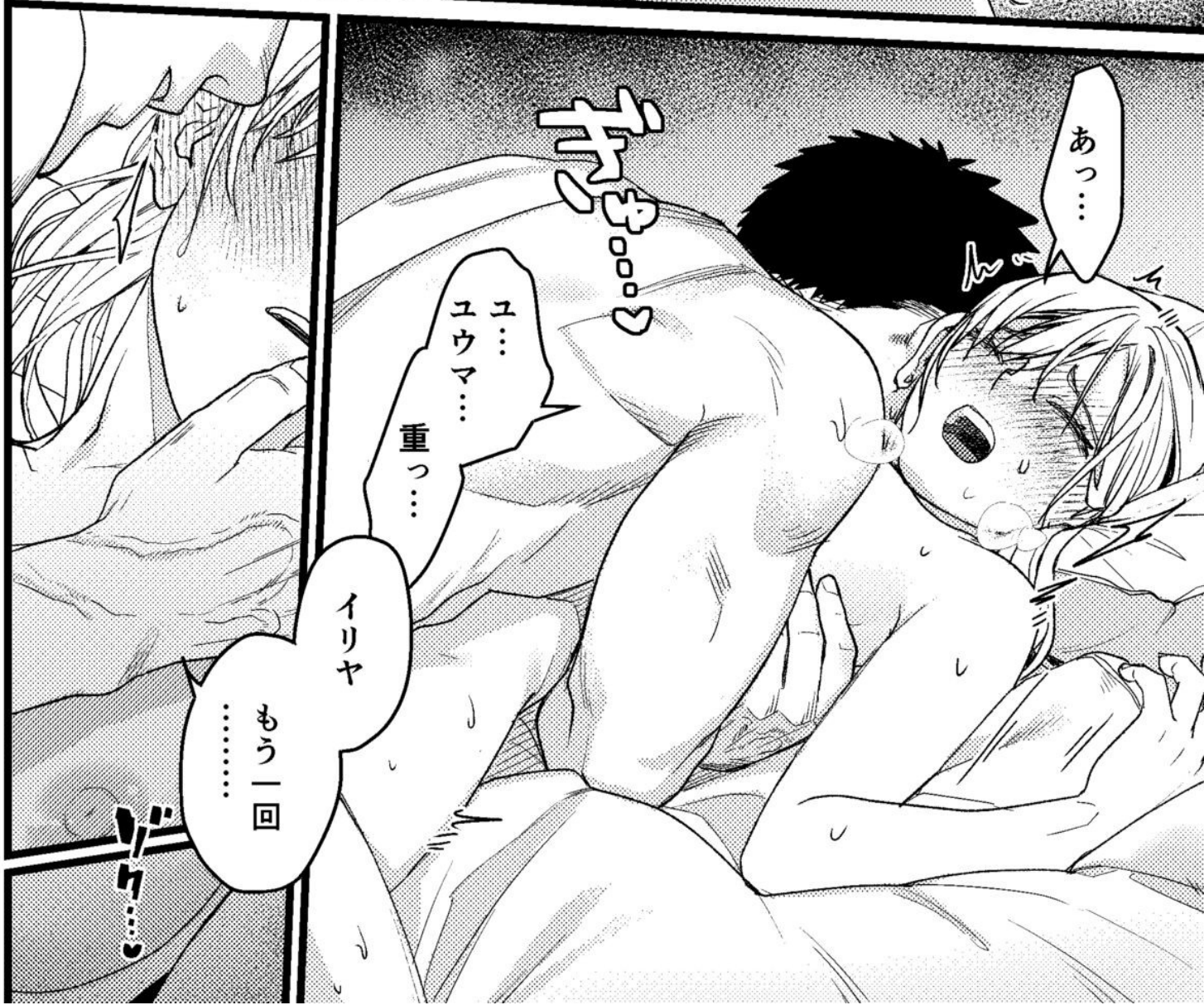
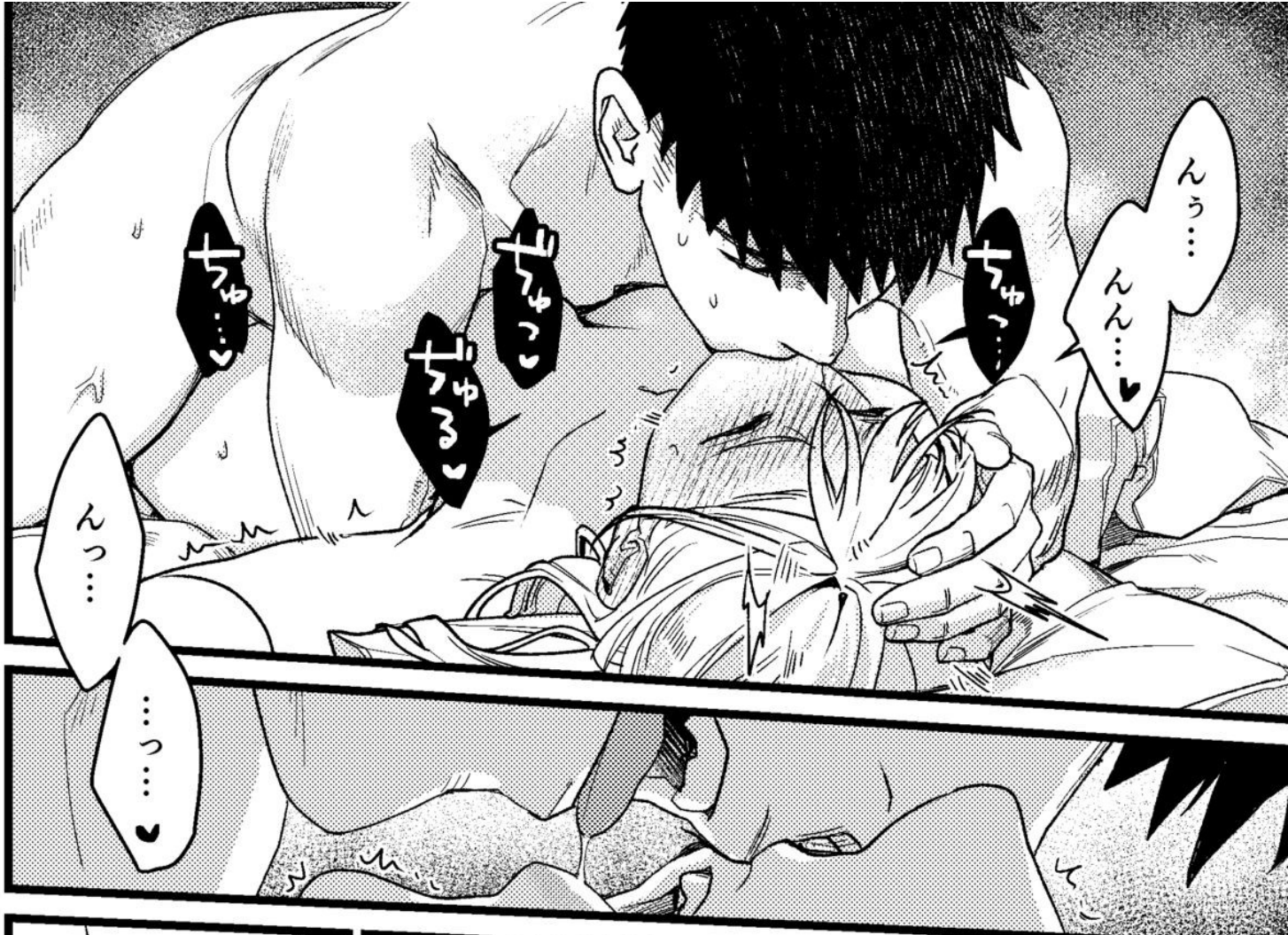
んんっ…♡

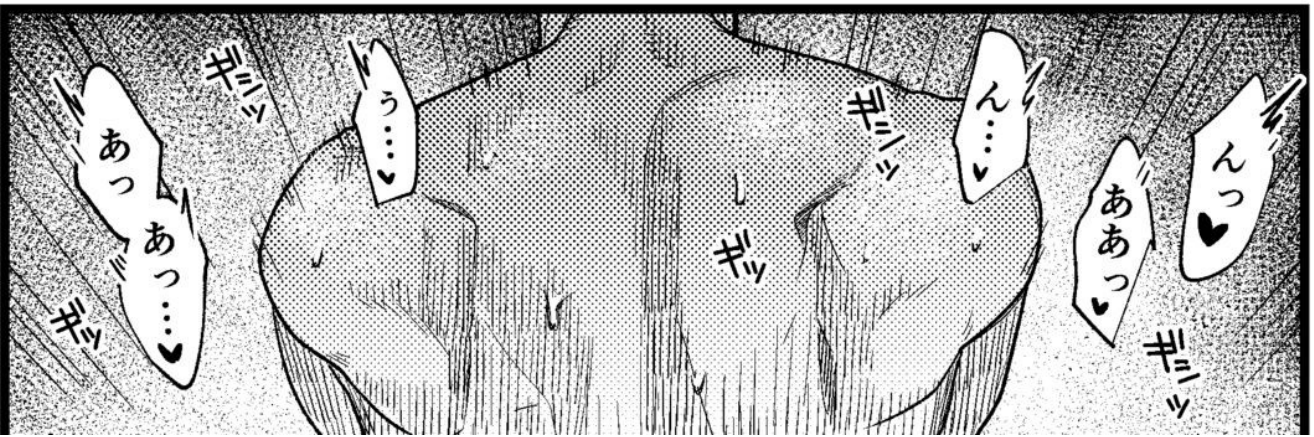
ユ…

あっ

んんっ

んん…









んん…

ギン

ギン

んんっ
んっ

ギン

…う…

はあっ

…っ…

あつあつ



…あつ…

あっ♡


はあっ
あっ♡

…あつ…



頭の中が
真っ白になって


何も考え
られない



ずっと気持ちいい
いいのが続いて

足腰立たなくな
るまで
何度も何度も
イカされて

それなのに
もっともっと
ユウマが欲しくて



ユウマに
触れられた
ところ

熱くて全部
溶けちゃいそう
……

俺も

愛してる

イリヤ

んっ…

ユウマっ…

ユ…マ…

も…

ん

わかってる…!





♡♡♡...♡...♡...♡

♡♡♡...♡...♡

♡♡♡...♡...♡

♡♡♡...♡...♡

♡♡♡...♡...♡

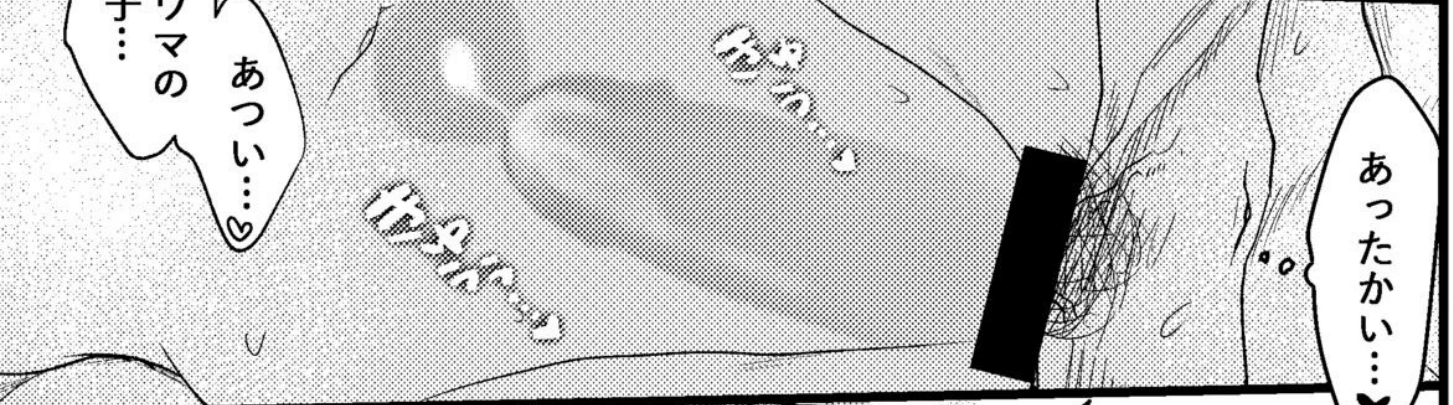
♡♡♡...♡...♡

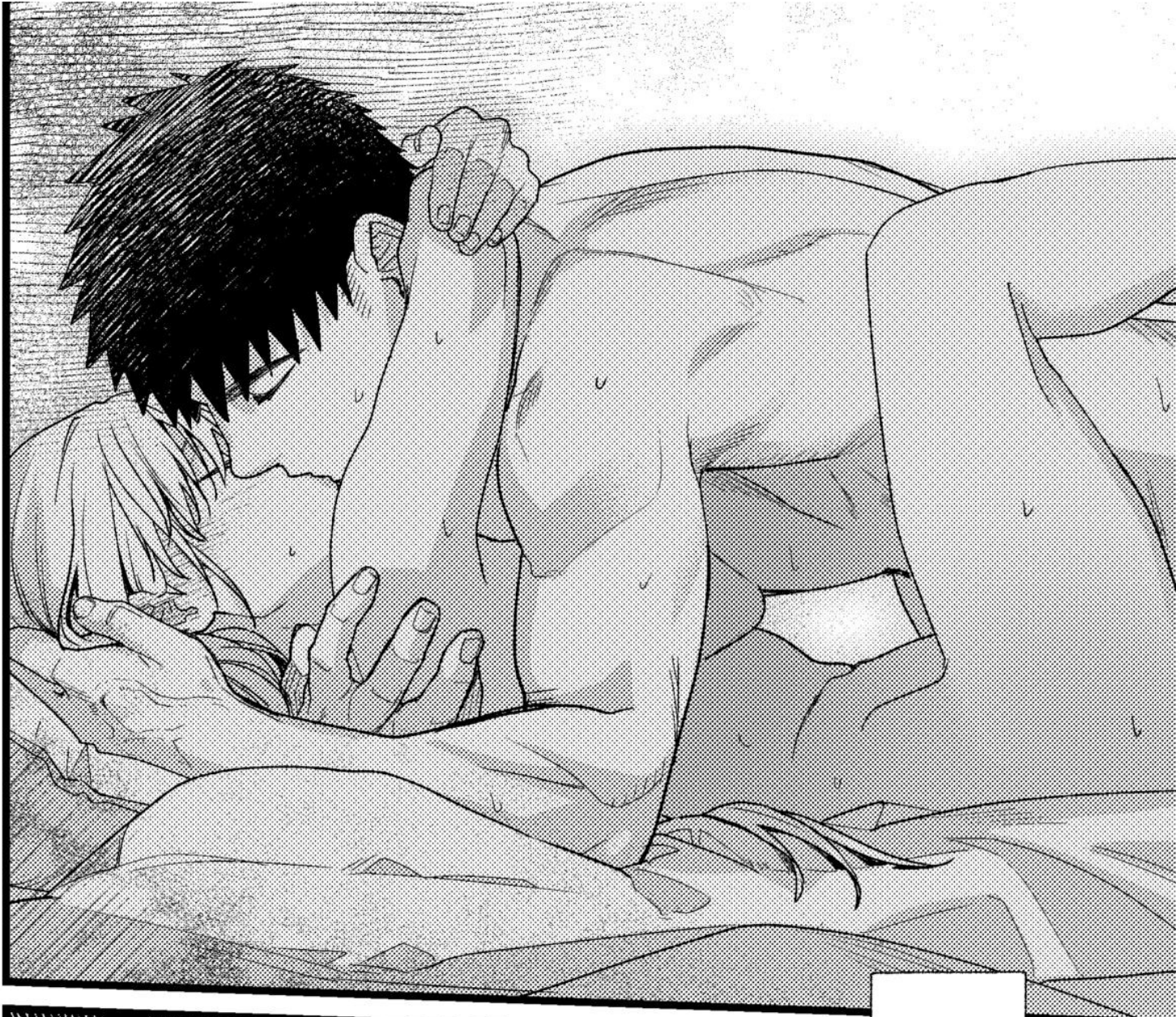
♡♡♡...♡...♡



あつ...♡
ユウマの
精子...

あつたかい...♡



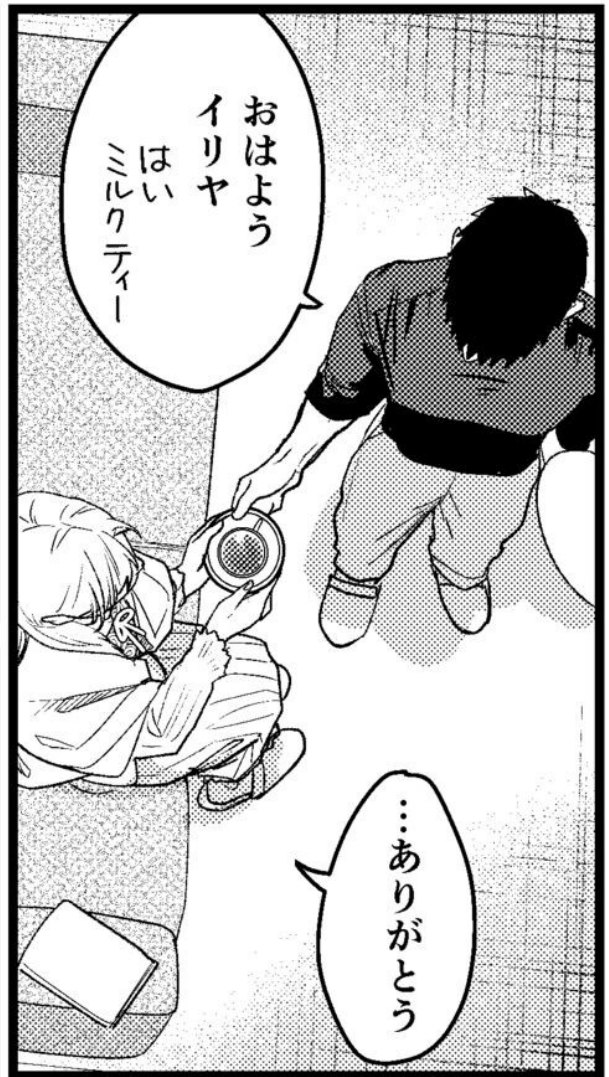


気づいたら
日付が
変わっていて

お風呂上りに
二人で食べようと
思っていた
ケーキを食べてから
くっつきあって寝た

抱きしめてくる
ユウマの体温が
心地よくて

その日は
久しぶりに
ぐっすりと
眠れた

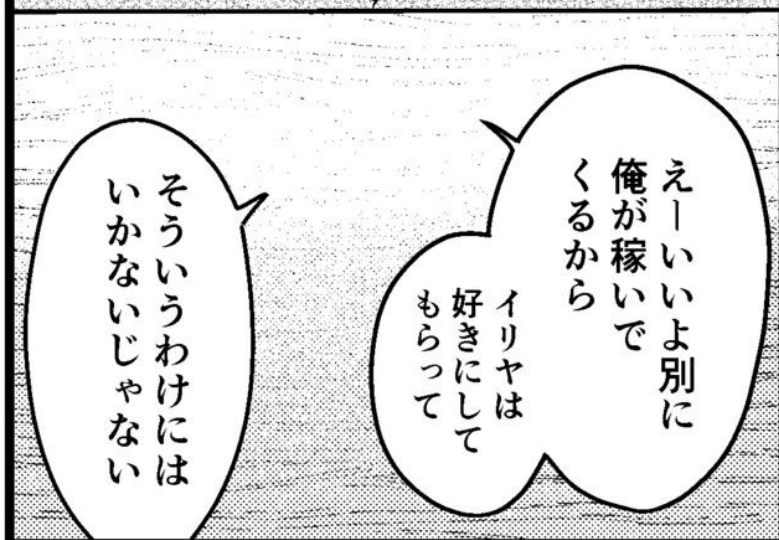




その：
私もいい加減
仕事見つけ
なきゃと思って



ん？
なにそれ
求人雑誌？



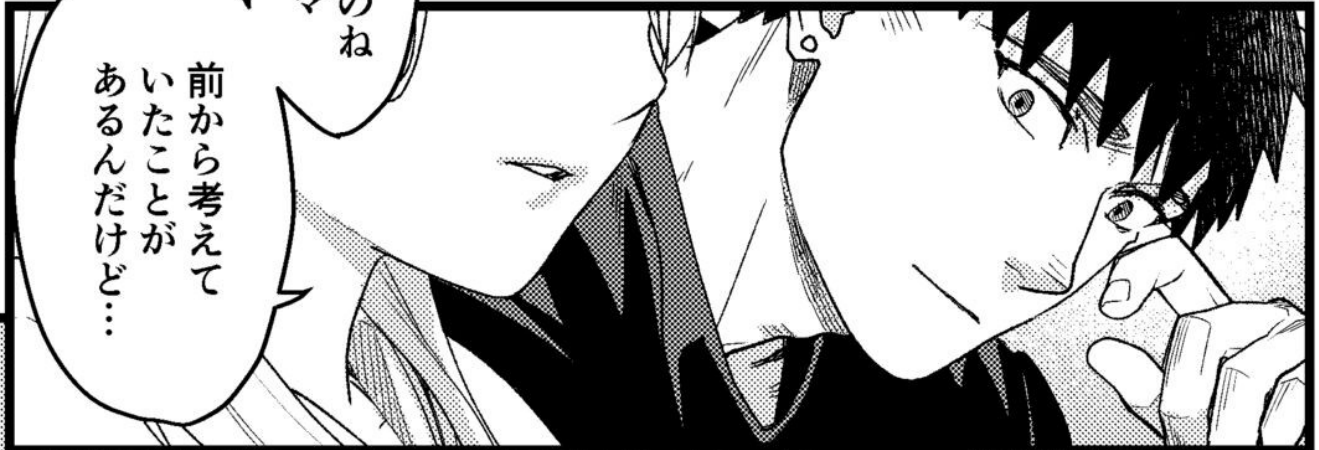
えーいいよ別に
俺が稼いで
くるから
イリヤは
好きにして
もらって

そういうわけには
いかないじゃない



うーんでもやっぱ
変な奴にからまれたり
したらと思うと
心配でさあ…

…あのね
ユウマ



前から考えて
いたことが
あるんだけど…





いやね？
正直俺としては
大歓迎だよ

イリヤがまた
復帰して
くれるのはさ

今頭の中で
小躍りしている
レベルで大歓迎だ



けどお前は
それで本当に
いいのか？

イリヤを軍部に
戻して

大喜びで
手配するぞ？

まあ二人で
いろいろ
話し合った
結果だよ



どうしても今の
仕事続けると

イリヤを一人に
する時間が
発生してしまう

もしイリヤの能力を
知っている
やつがいたら

そいつがイリヤに
手を出さないとも
限らない





当分の間は
訓練に勤しんで
もらうことに
なると思うが

覚悟しとけよ

えー
そこは
免除で

だめ

えー

…ま



…というわけで
イリヤには
偽名を使って
もらうことに
なると思うが

別に構わないわ
そのくらい

…ごめんなさいね
いろいろと
無理言って



カイン

貴方にとっても
私は…
親友の仇みたいな
ものなのに

仇だとか
そうでないとか
そういう話では
ないよ

今でもあれは
仕方のなかった
ことだと
思ってるしな

だから最初
ユウマにも
あの時の話は
していなかったわけ

：ルードは以前
自分たちの活動は
治安維持と人命救助
のためにあるって

ならせめて…
彼の意志を
継ぐことで

彼を殺した
罪滅ぼしに
なれば…

そういや
イリヤ

あのことは
ちゃんと
ユウマに
伝えてあるのか？

イリヤが能力を
使った際は
「高熱が出て
最低でも一週間は
寝込む」て話

①
いいえ
話したら反対
されそうなもの

復帰してしまえば
こちらのものよ

②
ははは
けっこう
強かな女
だったんだな

高熱でうなされている図

へ？



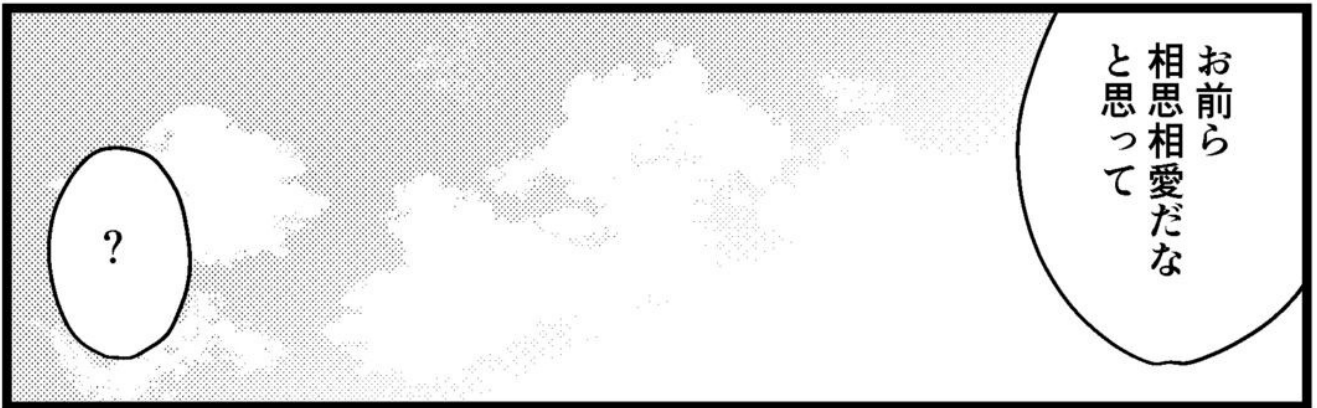
なに?

さや



ユウマの
ことは

私がちゃんと
守るから



お前ら
相思相愛だな
と思っ

?



…で?

カインと何
話してたんだ?

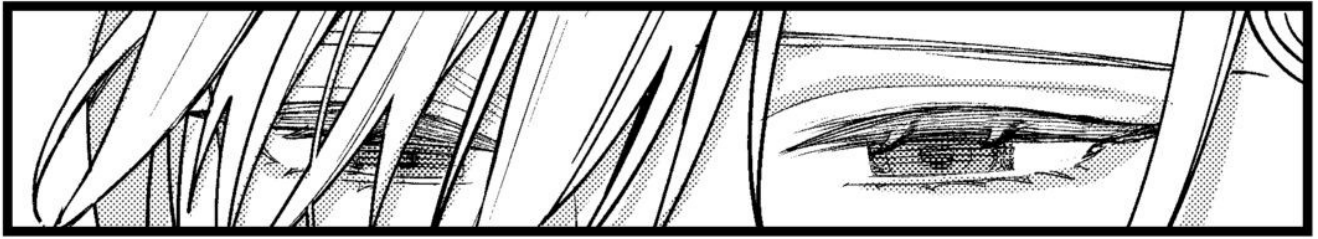
いろいろよ

ラブラブだとか
言われたけど

え…?

ほんと何
話してたの…?

気になるじゃん



いくらユウマが
ルードのことを
許してくれると
言ったとしても

私の罪が消える
ことはない

これから先もずっと
自分の犯した罪と
向き合いながら

日々を過ごすことに
なるんだろう

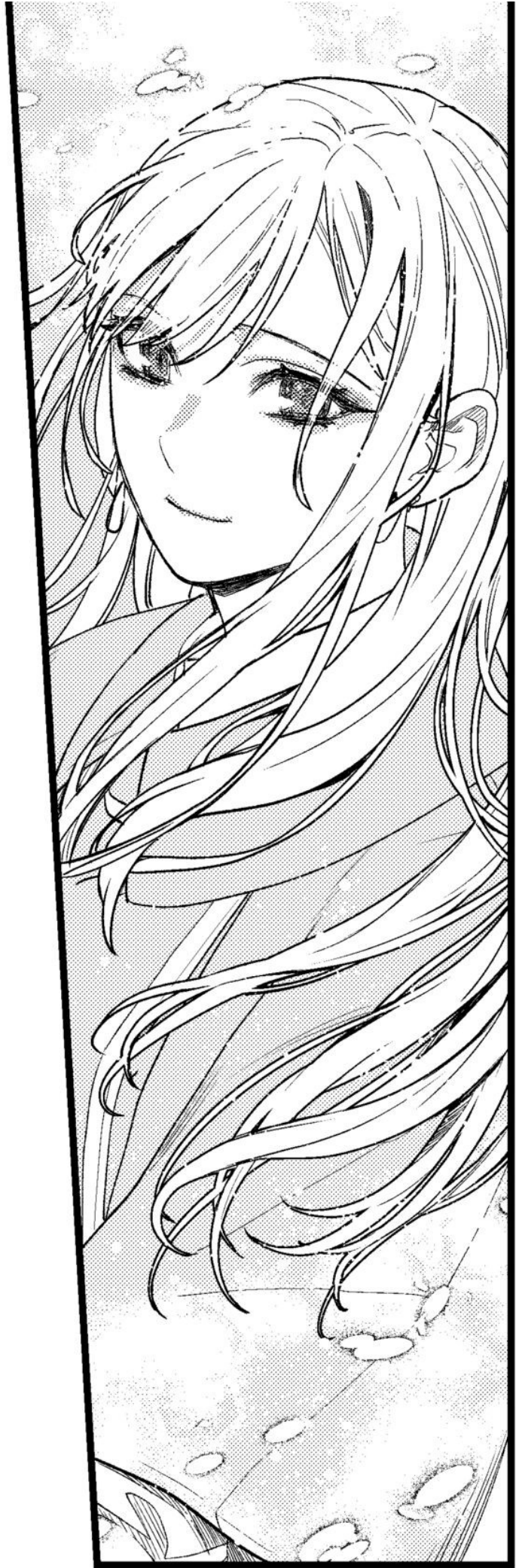
けど

それでも私は
彼と共に生きると
決めたのだから

きゅん

…ん？

どうかした？
イリヤ



大好き

ユウマ



彼の事情と彼女の秘密 ～その後の話～

サークル 桃色アザラシ

作者 ありま

発行日 2024/05/03

【警告】

※この漫画の著作権は桃色アザラシ/ありまにあります。

※この漫画を桃色アザラシ/ありまに許可なくインターネット上にアップロードすることは犯罪行為です。(著作権法第23条)

10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)

All rights reserved

请勿将这本书的内容在社交平台上公开



※公園の猫さんたちはとても人なれしているため、初対面のイリヤでも触らせてくれます